

令和3年版

消防年報

第66号

瀬戸市消防本部

はじめに

この年報は、瀬戸市消防本部における消防力の現状と、令和3年4月1日現在における各種統計を、今後の消防行政の効率的な運営と消防力の強化に資するとともに、消防事情を一般に紹介することを目的に収録いたしました。

消防・防災関係機関の皆様はもとより、広くあらゆる方面でご活用いただき、消防行政により一層のご理解とご協力をいただければ幸いに存じます。

令和3年8月

瀬戸市消防本部

一 目 統 計




令和3年4月1日現在

面積・人口等 自然環境	面積	人口	世帯	気象(R2年中) P51
				
	111.40 km ²	129,096 人	57,163 世帯	年平均気温 16.4℃ 年平均湿度 70.5 % 年間降水量 1,531 mm

消 防 予 算 構 成 人 員	消防予算 P1	署所数 P5	職員数 P6	団員数 P7
				
	19億 442万 8千円 市民1人当たり 14,752円	消防本部 1 消 防 署 1 分 署 2	142 人 (内女性 4 人)	246 人 (内女性 22 人)

消 防 車 両 水 利	ポンプ車等 P5	特殊車両等 P5	救急車 P5	水利 P16
				
	タンク車 3 台 ポンプ車 4 台	はしご車等 14 台	高規格救急車 5 台	消火栓 2,947 基 防火水槽等 567 基 (その他の水利を含む)

災 害 件 数 (令和2年中)	火災 P29	主な火災原因 P30	救急 P38・44	救助 P46・47
				
	25 件 出火率 1.9 件/万人	放火・放火の疑い 4 件 たき火 3 件 たばこ 2 件	出動件数 4,983 件 (13.6 件/日) 搬送人員 4,712 人 現場到着時間 7.2 分	出動件数 73 件 救助人員 33 人

予 防 消 防 関 係 団 体	防火対象物 P17	査察実施率 P18	危険物施設 P22	消防関係団体 P24-27
				危険物安全協会 304 会 員 自衛消防連絡協議会 18 隊 婦人(女性)防火クラブ 10 クラブ 少年消防クラブ 25 クラブ 瀬戸防火防災協会連合会 20 連 区 自警団 5 団 防災会 2 会
	4,491 件	8.6%	製造所 3 件 貯蔵所 202 件 取扱所 101 件	

令和2年度のトピックス

1 指令業務のさらなる共同化に向けて

消防広域化の一環として、令和7年4月から名古屋市を含む8消防本部で消防指令業務を共同運用することとしました。

指令業務のさらなる広域化により、人的・財政的効果や災害対応能力の向上が見込まれ、市民サービスの向上が期待されます。



共同指令センター（イメージ）

2 地区防災計画を策定

品野連合自治会、菱野連区自治会及び新郷連区自治会が地区防災計画を策定し、災害対策基本法第42条の2に基づき瀬戸市地域防災計画に定めるための地区防災計画提案書を提出しました。

地区防災計画とは、市町村内の一定地区の居住者や事業者が行う自発的な防災活動に関する計画で、本消防本部では、地域防災力の向上のため、全連区での地区防災計画の策定をめざした支援を平成30年度から行っております。

3 深川分団車両を更新

平成11年から運用していた深川分団車を最新の車両に更新しました。

瀬戸市消防団では、これまで準中型の消防ポンプ自動車を整備してきましたが、運転する消防団員に準中型の運転免許の取得が必要でした。これを軽減するため普通免許で運転できる車両を初めて採用しました。



4 消防本部のPR動画を作成

新型コロナウイルス感染症の影響による行事の縮小で、消防力を公開する機会が失われる中、市民に新しい形で広く消防力・地域防災力を公開できないかを考え、PR動画を作成しました。



こちらから御覧いただけます

目 次

【第1編】消防情勢（P1～10）

・5年間の市当初予算等と消防費	1
・令和3年度一般会計当初予算額	1
・令和3年度消防費の市民負担額	1
・消防本部・消防署・消防団組織図	2
・消防本部消防課の事務分掌	3
・消防署の事務分掌	4
・消防力の整備指針と現有消防力	5
・消防職員数	6
・消防団員数	7
・消防職員・団員数の推移	7
・消防職員・団員の平均年齢の推移	7
・消防職員派遣教養科目別実施状況	8
・消防職員研修実施状況	8
・消防職員・団員公務災害等発生状況	8
・消防本部車両運用状況	9
・消防団活動状況	10

【第2編】消防施設（P11～16）

・消防庁舎等設置状況	11
・消防車両等配備状況	12・13
・主な消防機器保有状況	14
・水防用資機材備蓄状況	15
・消防水利設置状況	16

【第3編】予防（P17～28）

・連区別防火対象物状況	17
・査察実施率の推移	18
・査察実施計画における査察対象物抽出基準及び実施周期	18・19
・中高層建築物・地階用途別状況	20
・防火管理者選任状況	21
・防火管理講習実施状況	21
・危険物施設等連区別設置状況	22
・危険物施設に関する申請等の件数	22
・危険物施設等の10年間の推移	23
・瀬戸防火防災協会連合会	24
・街頭消火器設置整備事業	24
・瀬戸市危険物安全協会	25
・瀬戸市自衛消防連絡協議会	25
・自警団	25
・瀬戸市婦人消防隊連絡協議会	26
・瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会	26
・瀬戸市幼年消防クラブ	27
・防災会	27
・安心・安全トピックス（わんわん消防隊、救急安心たまご）	28

【第4編】火災統計（P 29～37）

・令和2年中の火災発生状況と前年との比較	29
・原因別・用途別火災状況	30
・初期消火実施状況	30
・出火原因別（発火源・経過・着火物）火災発生件数	31
・署所別・連区別火災状況	32
・曜日別・月別火災状況	33
・天候別火災状況	33
・時間別火災状況	34
・10年間の火災状況	35
・10年間の出火件数と住宅火災件数及び損害額の推移	35
・10年間の住宅火災の状況	36
・10年間の住宅火災における出火原因別件数	36
・10年間の住宅火災における時間別死傷者数	37
・10年間の住宅火災における年齢別死傷者数	37

【第5編】救急・救助統計（P 38～47）

・事故種別救急出動件数及び搬送人員	38
・署所別救急出動件数	39
・連区別の老年人口率と救急搬送率	39
・曜日別・月別救急出動件数	40
・時間別救急出動件数	40
・傷病程度別搬送人員	41
・年齢区分別搬送人員	41
・急病にかかる疾病分類別搬送人員	42
・事故種別医療機関別搬送人員	42
・救急隊員の行った応急処置状況	43
・応急手当普及啓発実施状況	43
・救命率の推移	44
・バイスタンダーCPR実施状況	44
・AEDステーション認定事業所数	44
・10年間の現場到着平均所要時間の推移	44
・10年間の救急出動件数	45
・急病・交通・一般負傷の出動件数10年間の推移	45
・事故別救助出動状況	46
・連区別救助出動件数	46
・発生場所別救助人員	47
・10年間の救助出動件数	47

【第6編】通信・気象（P 48～51）

・消防指令センターの主な施設状況	48
・月別119番受信状況（受信時の種別）	48
・無線施設状況	49・50
・月別気象状況	51
・天候別日数・月別気温状況・月別湿度状況	51

【第7編】資料（P 52～57）

・消防本部の沿革	52～56
・消防相互応援協定	57

市 勢 概 要

瀬戸市は、名古屋市の北東約20kmに位置し、周囲を標高100～300mの小高い山々に囲まれ、気候も温暖なまちで、「せともの（瀬戸物）」という言葉が、やきものの代名詞として広く知られています。

良質で豊富な陶土に恵まれたこの地で、先人たちは新しい技術や文化を柔軟に取り入れ、「せとものまち」を発展させてきました。

長年受け継がれてきたやきものづくりの卓越した技は、多種多様なやきものづくりに繋がり、陶器と磁器が共存する稀有な産地であるだけでなく、ノベルティ（置物・装飾品）、ファインセラミックスなどが生産され、今も新しいものづくりが続けられています。

年別	項目	変 遷	面 積 (km ²)	人 口 (人)	世 帯
昭和 4年		市 制 施 行	28.01	31,276	6,916
昭和26年		水野村合併	50.67	54,779	11,670
昭和30年		幡山村合併	71.36	64,681	13,588
昭和34年		品野町合併	110.34	79,449	16,636
令和 3年		4月1日現在	111.40	129,096	57,163



第1編

消防情勢

5 年間の市当初予算等と消防費

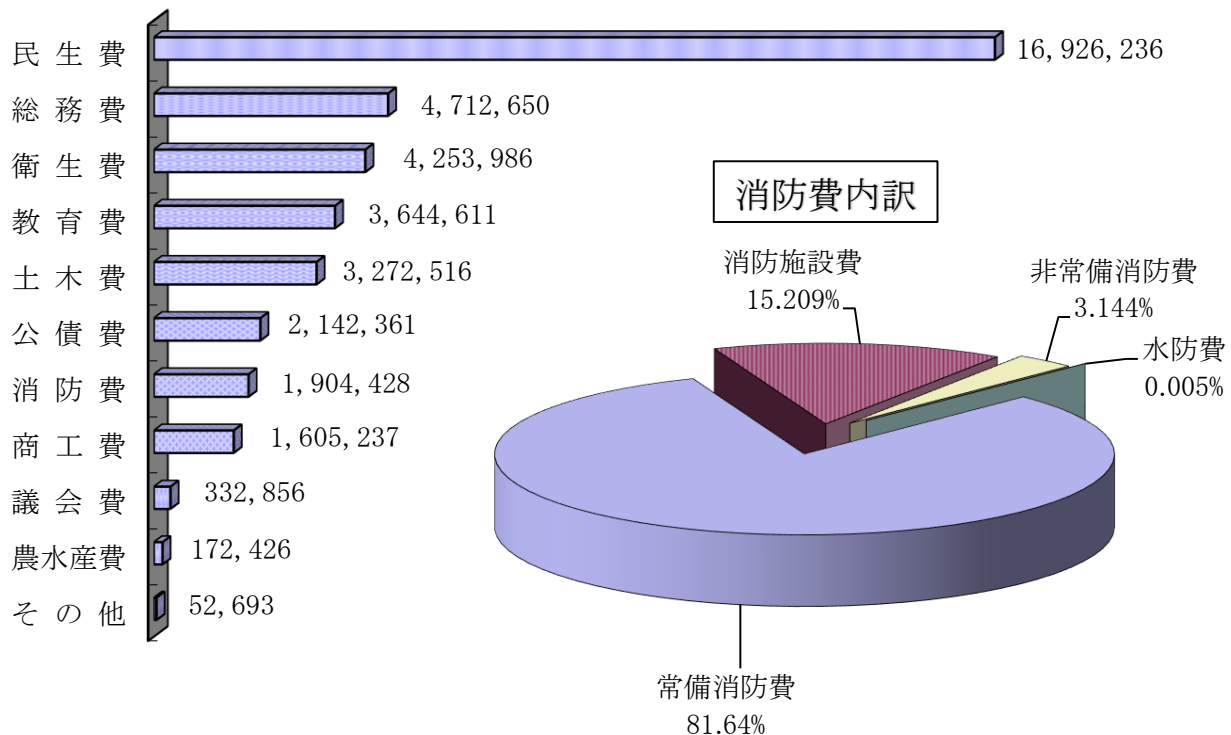
(単位：千円)

区分 年度	市一般会計	消 防 費	消 防 費 内 訳				一般 会計 との 比率 (%)	消防費基準 財政需要額	消防費と 消防費基 準財政需 要額との 比 較 (%)
			常 備 消防費	非常備 消防費	消 防 施設費	水防費			
H28	33,890,000	1,293,347	1,116,430	51,517	125,310	90	3.8	1,463,486	88.4
H29	35,110,000	1,256,267	1,121,685	52,441	82,051	90	3.6	1,458,220	86.2
H30	38,440,000	1,269,770	1,118,810	53,142	97,728	90	3.3	1,455,304	87.3
R1	41,740,000	1,245,167	1,142,742	61,098	41,237	90	3.0	1,453,847	85.6
R2	38,740,000	1,427,847	1,204,812	55,571	167,374	90	3.7	1,463,771	97.5

令和 3 年度一般会計当初予算額

(単位：千円)

区分 年度	市一般会計	消 防 費	消 防 費 内 訳				一般会計 との比率 (%)
			常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	
R3	39,020,000	1,904,428	1,554,825	59,871	289,642	90	4.9

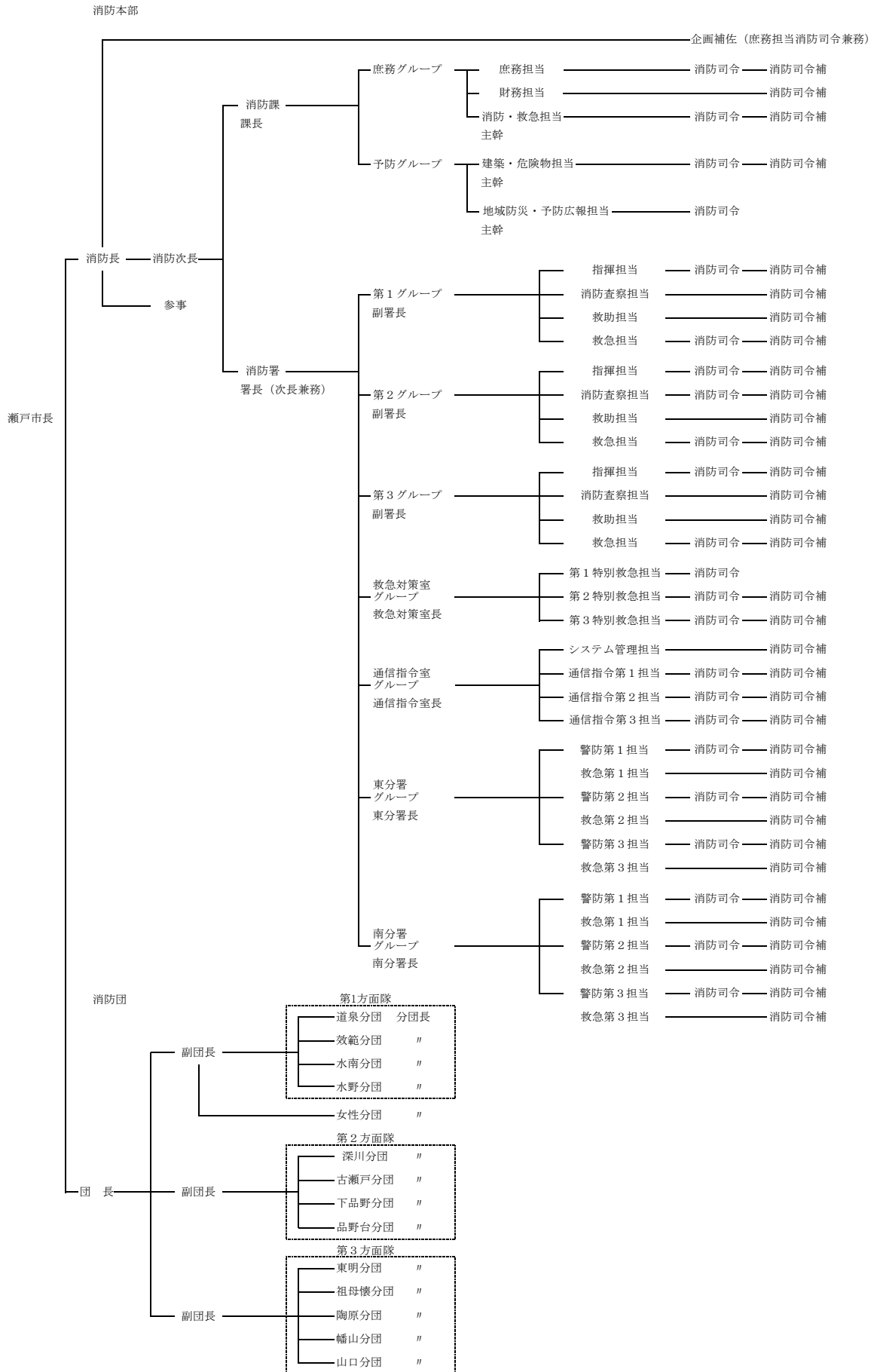


令和 3 年度消防費の市民負担額

市民 1 人 当 た り の 額	1 世 帯 当 た り の 額
14,752 円	33,316 円

消防本部・消防署・消防団組織図

(令和3年4月1日現在)



消 防 本 部 消 防 課 の 事 務 分 掌

- 1 消防職員の任免その他の人事に関する事。
- 2 消防職員及び消防団員の教養計画に関する事。
- 3 行政組織及び事務の委任配分に関する事。
- 4 予算に関する事。
- 5 規則等の制定又は改廃に関する事。
- 6 文書取扱い及び文書管理の総括に関する事。
- 7 公印取扱いの総括に関する事。
- 8 消防職員の福利厚生に関する事。
- 9 消防関係施設の管理に関する事。
- 10 消防庁舎移転整備に関する事。
- 11 消防団に関する事。
- 12 消防職員委員会に関する事。
- 13 消防部隊の統制に関する事。
- 14 消防相互応援協定に関する事。
- 15 消防水利の計画及び管理に関する事。
- 16 消防計画に関する事。
- 17 消防資機材の管理に関する事。
- 18 儀式及び消防行事に関する事。
- 19 救急業務の高度化に関する事。
- 20 火災予防の指導及び普及に関する事。
- 21 予防救急に関する事。
- 22 火災、救急等の報告に関する事。
- 23 消防統計に関する事。
- 24 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。
- 25 防火対象物の調査及び指導に関する事。
- 26 建築許可等の同意に関する事。
- 27 防火管理の指導に関する事。
- 28 危険物の規制に関する事。
- 29 液化石油ガス等の保安に関する事。
- 30 火薬類の貯蔵及び消費に係る保安に関する事。
- 31 地域防災力の向上に関する事。
- 32 瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会に関する事。
- 33 瀬戸市婦人消防隊連絡協議会に関する事。
- 34 瀬戸市危険物安全協会に関する事。
- 35 瀬戸市自衛消防連絡協議会に関する事。
- 36 瀬戸防火防災協会連合会に関する事。
- 37 自警団に関する事。
- 38 消防課の庶務に関する事。

消 防 署 の 事 務 分 掌

- 1 消防署の業務の管理に関する事。
- 2 防火訓練の指導に関する事。
- 3 消防広報活動に関する事。
- 4 火災及び災害の警戒及び防御に関する事。
- 5 救助活動に関する事。
- 6 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- 7 消防相互応援の実施に関する事。
- 8 消防団の訓練指導に関する事。
- 9 消防水利の整備保全に関する事。
- 10 消防機械器具、防災資機材及び救急資機材の整備保全に関する事。
- 11 救急業務に関する事。
- 12 応急手当の普及に関する事
- 13 火災、救急等の受信及び出動指令の伝達に関する事。
- 14 愛知県広域災害救急医療情報システムの運用に関する事。
- 15 気象情報及び災害情報に関する事。
- 16 火災警報に関する事。
- 17 高度情報通信ネットワークの運用に関する事。
- 18 通信施設の整備保全に関する事。
- 19 その他消防情報に関する事。
- 20 消防署の庶務に関する事。

消防力の整備指針と現有消防力

1 施設

令和3年4月1日現在

施設	整備指針	現有数	充足率 (%)
施設	3	3	100.0

2 車両

令和3年4月1日現在

車 両	整備指針 (台) (非常用を除く)	現有数 (台) (非常用を除く)	充足率 (%)
消防ポンプ自動車	7	7	100.0
はしご自動車	2	1	50.0
化学消防車	1	1	100.0
救助工作車	1	1	100.0
指揮車	1	1	100.0
救急車	6	5	83.3
特殊車等	10	10	100.0
合 計	28	26	92.9

※ はしご自動車は、現有数の1台以外に15メートル級の空中活動車を配備

3 人員

令和3年4月1日現在

人員	整備指針 (人)	現有人員 (人)	充足率 (%)
指揮隊員	10	109	59.6
消防隊員	105		
救急隊員	51		
救助隊員	17		
(小 計)	183	109	59.6
通 信 員	9	8	88.9
予 防 要 員	17	11	64.7
庶務の処理等の人員	20	14	70.0
合 計	229	142	62.0

消 防 職 員 数

令和3年4月1日現在

階 級 別		合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 員	そ の 他	
所 属 別												
合 計		142 (2)	1	12 (1)	23 (1)	34	26	10	33	2	1	
消 防 本 部	消 防 長	1	1									
	消 防 次 長	1		1								
	企 画 補 佐	1			1							
	消 防 課 長	1		1								
	消 防 課	庶 務 担 当	1 (1)			(1)	1					
		財 務 担 当	2				1		1			
		消 防 ・ 救 急 担 当	4		1	1	1			1		
	課 派	建 築 ・ 危 険 物 担 当	7		1	1	1	3		1		
		地 域 防 災 ・ 予 防 広 報 担 当	4		1	1		1			1	
		派 遣 職 員 等	2					1			1	
小 計		24 (1)	1	5	4 (1)	4	5	1	2	2		
消 防 署	署 長		(1)		(1)							
	第 1 グ ル ー プ	副 署 長	1		1							
		指 揮 担 当	2			1	1					
		消 防 査 察 担 当	4				1	1	1	1		
		救 助 担 当	4				1	1	1	1		
		救 急 担 当	5			1	1	2		1		
	そ の 他		1									1
	第 2 グ ル ー プ	副 署 長	1		1							
		指 揮 担 当	2			1	1					
		消 防 査 察 担 当	4			1	1		1	1		
		救 助 担 当	4			1	1		2	1		
	第 3 グ ル ー プ	副 署 長	1		1							
		指 揮 担 当	2			1	1					
		消 防 査 察 担 当	4				1	2	1			
		救 助 担 当	4				1	1	1	1		
	グ ル ー プ 救 急 対 策 室	救 急 対 策 室 長	1		1							
		第 1 特 別 救 急 担 当	3			1		1		1		
		第 2 特 別 救 急 担 当	3			1	1			1		
		第 3 特 別 救 急 担 当	3			1	1			1		
	小 計		57 (1)		4 (1)	10	14	8	7	13		1
グ ル ー プ 通 信 指 令 室	通 信 指 令 室 長	1		1								
	シ ス テ ム 管 理 担 当	1				1						
	通 信 指 令 第 1 担 当	2			1	1						
	通 信 指 令 第 2 担 当	2			1	1						
	通 信 指 令 第 3 担 当	2			1	1						
小 計		8		1	3	4						
東 分 署 グ ル ー プ	東 分 署 長	1		1								
	警 防 第 1 担 当	5			1	1	1	1	1			
	救 急 第 1 担 当	3				1		1	1			
	警 防 第 2 担 当	5			1	1	2		1			
	救 急 第 2 担 当	3				1	1		1			
	警 防 第 3 担 当	5			1	1	1		3			
南 分 署 グ ル ー プ	救 急 第 3 担 当	3				1	1		1			
	小 計	25		1	3	6	5	2	8			
	南 分 署 長	1		1								
	警 防 第 1 担 当	6			1	1	2		2			
	救 急 第 1 担 当	3				1	1		1			
	警 防 第 2 担 当	6			1	1	2		2			
救 急 第 2 担 当	救 急 第 2 担 当	3				1	1		1			
	警 防 第 3 担 当	6			1	1	1		3			
	救 急 第 3 担 当	3				1	1		1			
	小 計	28		1	3	6	8		10			

※再任用職員10名を含む。

※ () 内は兼務職員数

消 防 団 員 数

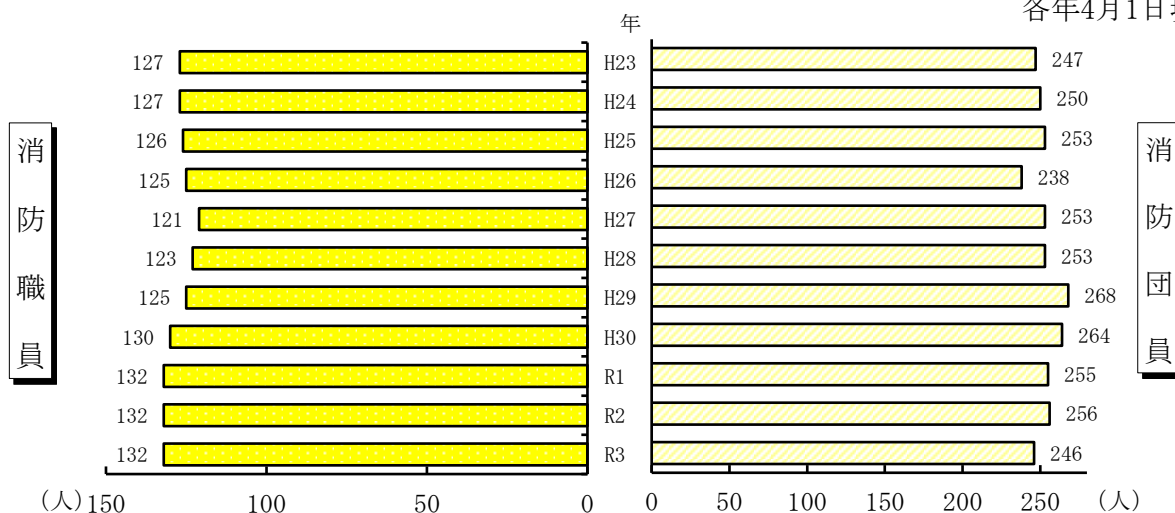
令和3年4月1日現在

階級別 分団別	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
合 計	246	1	3	14	26	25	26	151 ④
団 本 部	4	1	3					
道 泉 分 団	17			1	2	2	2	10 ③
深 川 分 団	18			1	2	2	2	11 ④
古瀬戸分団	13			1	2	2	2	6 ⑤
東 明 分 団	16			1	2	2	2	9 ⑤
祖母懐分団	17			1	2	2	2	10 ④
陶 原 分 団	18			1	1	1	2	13 ③
效 範 分 団	13			1	2	1	2	7 ①
水 南 分 団	20			1	2	2	2	13 ⑤
水 野 分 団	19			1	1	2	2	13 ③
下品野分団	17			1	2	2	2	10 ③
品野台分団	18			1	2	2	2	11
幡 山 分 団	17			1	2	2	1	11 ②
山 口 分 団	19			1	2	2	2	12 ③
女 性 分 団	20			1	2	1	1	15

○災害支援団員数（内数）

消 防 職 員 ・ 団 員 数 の 推 移

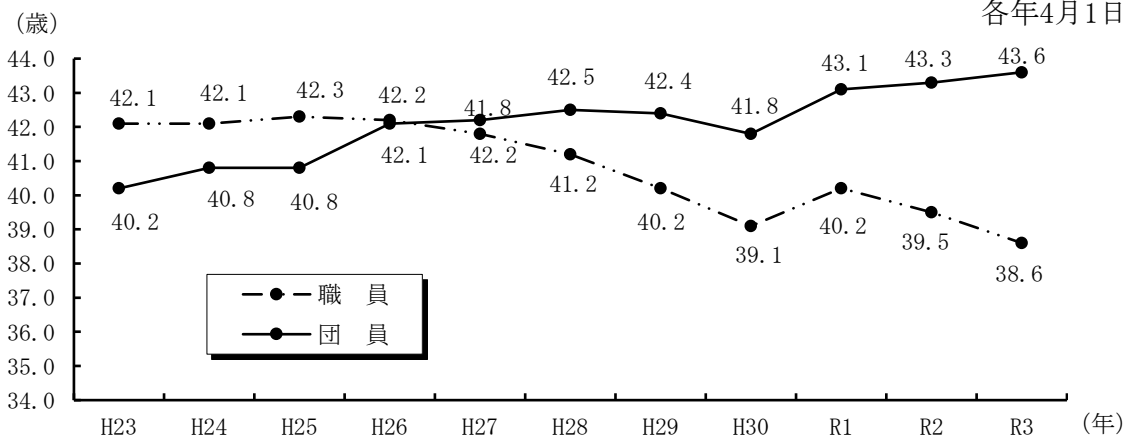
各年4月1日現在



※消防職員数は再任用を除く

消 防 職 員 ・ 団 員 の 平 均 年 齢 の 推 移

各年4月1日現在



消防職員派遣教養科目別実施状況

【県消防学校等】

科目		年度	合計	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
幹部科	初級		3	1			1			1			
	中級		3		1			1			1		
	上級		3			1			1			1	
警防科			9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
救助科			9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
救急科標準課程			45	4	2	3	3	4	2	6	11	8	2
はしご自動車等運用科			10	1			1	1	1	2	2	2	
指導員養成科			0										
初任科			50	4	3	3	3	3	7	8	10	6	3
予防科	危険物課程		3			1			1		1		
	火災調査課程		4	1			1			1		1	
	予防査察課程		4		1			1		1		1	
特殊災害科			0										
地震防災科			8		1	1	1	1	1	1		1	1
新任消防長(行政出身)科			0										
小隊長科			1	1									
指揮隊科			5			1	1	1		1	1		
外傷・災害対応講習			16			2		2	3	3	3	3	
合計			173	14	10	14	13	16	18	26	31	25	6

【救急救命士養成関係】 ()内は令和2年4月1日現在の救命士数

科目		年度	合計	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
救急救命士養成 救命士合計 (34)			10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
救急救命士気管挿管養成 (13)			9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
救急救命士薬剤投与養成 (26)			11	1	1	1	1	1	1	3	1	1	
合計			30	3	3	3	3	3	3	5	3	3	1

【消防大学校】

科目		年度	合計	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
上級幹部科			1		1								
幹部科			0										
新任消防長科			1									1	
警防科			1								1		
救助科			5		1		1	1	1			1	
救急科			1	1									
予防科			2	2									
危険物科			1							1			
火災調査科			2			1							1
新任教官科			1					1					
講習会等			8	1		1	1	1	1	1	1	1	
合計			23	4	2	2	2	3	2	2	2	3	1

消防職員研修実施状況

内容		年度	合計	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
市職員研修	回数		236	12	18	18	29	29	30	17	29	33	21
	人数		917	32	44	34	98	95	87	51	139	259	78
警防関係	回数		41	8	5	2	2	3	2	5	5	7	2
	人数		128	25	8	7	4	4	4	26	21	25	4
救急・救助関係	回数		200	12	13	18	53	24	23	20	17	19	1
	人数		2,532	33	235	275	323	311	325	334	369	326	1
予防関係	回数		103	11	16	13	9	9	9	10	9	11	6
	人数		158	12	25	27	13	12	13	15	13	21	7
通信関係	回数		14	0	1	1	3	2	1	2	3	1	0
	人数		68	0	13	2	13	5	12	5	5	13	0
その他	回数		65	4	2	0	6	11	6	9	11	9	7
	人数		98	4	3	0	9	21	7	12	23	11	8
合計	回数		659	47	55	52	102	78	71	63	74	80	37
	人数		3,901	106	328	345	460	448	448	443	570	655	98

消防職員・団員公務災害等発生状況

内容		年度	計	小計	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
消防活動中	職員		3	3		1					1	1		
	団員		0	0										
救急活動中	職員		5	5	1	2	1							1
	団員		0	0										
調査活動中	職員		0	0										
	団員		0	0										
訓練中	職員		2	2						1	1			
	団員		16	14	1	2	4		1		1	2	2	1
作業中	職員		1	0										
	団員		1	1				1						
その他	職員		8	4	2								2	
	団員		8	4					2					
通勤災害	職員		0	0										
	団員		0	0										
合計	職員		14	3	3	1	0	0	0	1	2	1	2	1
	団員		19	1	2	6	1	3	0	1	2	2	2	1
	計		33	4	5	7	1	3	1	3	3	3	4	2

消 防 本 部 車 両 運 用 状 況

令和2年中

区別 車両別	火災出動		放水	救急出動		救助出動		警戒出動		風水害出動		訓練出動		警防調査		火災調査		検査・査察		広報活動		一般事務		その他の出動		走行距離 km
	回数	人員		回数	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	
合 計	174	555	32	5,786	19,950	184	606	209	687	1	3	149	411	442	1,256	17	53	416	885	117	279	2,190	3,211	985	2,237	108,806
ポンプ 1号車	4	14	0	350	1,070	3	10	0	0	0	0	1	4	5	16	0	0	4	12	0	0	3	9	6	19	1,973
タンク 2号車	17	61	5	17	55	16	53	37	122	0	0	15	49	36	112	6	18	14	43	4	12	32	101	40	119	2,798
化学 3号車	6	21	2	2	6	1	4	30	97	0	0	3	9	2	6	0	0	0	0	0	0	4	12	13	44	560
タンク 5号車	18	68	8	22	68	13	47	43	154	0	0	8	28	78	249	1	4	3	9	4	14	7	24	82	260	2,736
タンク 6号車	13	49	6	12	39	15	50	34	121	0	0	9	32	34	120	0	0	5	16	1	3	7	21	40	130	2,230
ポンプ 8号車	11	37	1	157	499	2	7	0	0	0	0	0	0	58	183	0	0	8	24	1	4	2	6	12	38	2,126
ポンプ 9号車	9	31	3	199	652	1	3	3	10	0	0	0	0	27	83	0	0	7	21	0	0	0	0	14	36	1,813
ポンプ 10号車	19	66	3	39	122	3	9	2	5	0	0	7	28	34	106	0	0	4	14	4	12	19	60	130	405	2,348
空活 31号車	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	20	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	9	20	324
梯子 32号車	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	27	510
救助 43号車	1	2	0	2	7	61	219	0	0	0	0	5	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	15	752
指揮 51号車	26	82	0	15	45	68	203	57	171	1	3	27	84	82	244	1	3	2	6	62	186	105	314	142	427	5,713
指揮 52号車	4	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	32	2	4	0	0	30	58	7	10	176	268	21	29	2,817
広報 61号車	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	11	3	3	0	0	57	120	3	4	308	419	41	52	4,601
広報 62号車	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	5	8	2	3	110	211	0	0	289	352	49	70	5,931
広報 64号車	6	8	0	0	0	1	1	0	0	0	0	18	44	18	25	3	10	14	31	7	7	186	188	72	104	4,677
輸送 71号車	0	0	0	0	0	0	0	3	7	0	0	1	3	0	0	0	0	1	2	0	0	7	13	9	15	322
積載 72号車	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	10	3	4	0	0	0	0	0	0	35	37	77	92	1,721
団活 73号車	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5	8	0	0	72	148	4	5	290	406	28	38	3,252
査察 74号車	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	5	8	0	0	72	148	4	5	290	406	28	38	4,773
輸送 75号車	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	10	14	2	6	2	4	0	0	49	52	37	44	1,429
査察 76号車	7	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	35	63	2	9	11	18	15	15	222	230	66	79	5,596
連絡 78号車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	157	288	9	17	3,021
水槽 77号車	5	15	4	0	0	0	0	0	0	0	0	6	14	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	7	14	444
救急 1号車	0	0	0	226	770	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,248
救急 2号車	0	0	0	1,163	4,278	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	11	7,767
救急 3号車	0	0	0	832	3,008	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,451
救急 5号車	0	0	0	1,208	4,549	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,533
救急 6号車	13	39	0	1,542	4,782	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	94	11,340

消 防 団 活 動 状 況

令和2年中

区分 分団別	合計		火災出動		放水	水防活動 及び 警戒活動		訓練出動		広報出動		その他		走行 距離 Km
	回数	人員	回数	人員		回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	
合 計	1,043	6,554	79	549	7	41	348	496	3,001	268	2,159	159	497	6,833
うち支援団員	(42)	(73)	(34)	(60)				(8)	(13)					
消防団本部	90	206	17	46		1	4	46	70	2	4	24	82	445
うち支援団員	(1)	(1)	(1)	(1)										
道泉分団	87	521	5	40	1	4	30	49	253	20	164	9	34	309
うち支援団員														
深川分団	68	336	2	10		3	24	17	105	19	152	27	45	320
うち支援団員														
古瀬戸分団	55	268	4	24		3	24	23	76	22	141	3	3	372
うち支援団員	(4)	(9)	(4)	(9)										
東明分団	42	219	4	18		3	24	13	64	19	109	3	4	504
うち支援団員	(4)	(5)	(4)	(5)										
祖母懐分団	67	644	5	50	1	3	42	28	225	23	277	8	50	349
うち支援団員	(4)	(10)	(4)	(10)										
陶原分団	48	328	6	35	1	3	28	16	96	21	167	2	2	1187
うち支援団員	(2)		(2)											
效範分団	146	956	7	38		3	24	105	708	22	175	9	11	550
うち支援団員	(2)	(2)	(2)	(2)										
水南分団	97	603	2	9		5	38	43	331	21	168	26	57	802
うち支援団員	(6)	(11)						(6)	(11)					
水野分団	58	437	3	35		3	24	27	197	19	153	6	28	425
うち支援団員														
下品野分団	42	321	5	47	1	3	30	14	107	16	131	4	6	280
うち支援団員	(6)	(17)	(4)	(15)				(2)	(2)					
品野台分団	55	462	5	56	1	3	24	21	213	19	158	7	11	534
うち支援団員														
幡山分団	58	449	7	66	2	4	32	21	159	22	174	4	18	756
うち支援団員	(7)	(12)	(7)	(12)										
山口分団	46	396	7	75				16	148	21	171	2	2	280
うち支援団員	(6)	(6)	(6)	(6)										
女性分団	84	408						57	249	2	15	25	144	

女性分団の「訓練出動」は、救命講習の回数・人員を計上。

第2編

消防施設

消 防 庁 舎 等 設 置 状 況

令和3年4月1日現在

区分	名 称	建 築 年 月 日	構 造	延 床 面 積 (敷 地 面 積)	所 在 地
消 防 庁 舎	消 防 本 部 消 防 署	S 47. 7. 31 (増築S62.2.28)	R・C造3階建 一 部 5 階 建	1,622.52㎡ (3241.84㎡)	苗場町101
	消 防 署 東 分 署	H 1. 10. 14	R・C造2階建 一 部 地 下 1 階	934.81㎡ (2698.04㎡)	品野町1-190-1
	〃 訓 練 塔	H 1. 10. 14	S 造 4 階 建	135.36㎡	品野町1-190-1
	消 防 署 南 分 署	H 3. 3. 1	R・C造2階建	590.98㎡ (2331.99㎡)	南山口町143
消 防 分 団 詰 所	道 泉 分 団	H 27. 3. 29	R・C造2階建	177.34㎡ (347.85㎡)	西谷町6
	深 川 分 団	H 29. 3. 7	R・C造2階建	150.50㎡ (276.39㎡)	宮脇町2-5
	古 瀬 戸 分 団	S 55. 3. 31	R・C造2階建	75.47㎡ (280.98㎡)	西古瀬戸町8-3
	東 明 分 団	H 4. 3. 22	R・C造2階建	145.00㎡ (741.89㎡)	西窯町94
	祖 母 懐 分 団	H 15. 2. 28	R・C造2階建	152.50㎡ 祖母懐公民館併設	上ノ切町43
	陶 原 分 団	S 60. 9. 30	R・C造2階建	99.32㎡ (244.48㎡)	陶原町2-44-1
	效 範 分 団	H 18. 3. 1	R・C造2階建	128.70㎡ (245.33㎡)	汗干町81-20
	水 南 分 団	S 60. 3. 30	R・C造2階建	98.53㎡ (453.65㎡)	北松山町1-63-2
	水 野 分 団	S 53. 12. 15	R・C造2階建	88.41㎡ (539.43㎡)	中水野町1-155
	下 品 野 分 団	H 9. 3. 5	S・R・C造2階建	152.50㎡ (401.00㎡)	品野町6-108-1
	品 野 台 分 団	S 63. 3. 27	R・C造2階建	108.50㎡ (322.52㎡)	上品野町335-3
	幡 山 分 団	S 56. 3. 31	R・C造2階建	73.31㎡ 幡山公民館併設	幡山町71
山 口 分 団	H 28. 3. 7	R・C造2階建	222.50㎡ (600.62㎡)	大坪町113-2	
水 防 倉 庫 等	消 防 署 水 防 倉 庫	消 防 署 併 設		19.70㎡	苗場町101
	消 防 署 倉 庫	H 7. 3. 8	コ ン テ ナ 式	14.30㎡	苗場町101
	防 災 資 機 材 地 域 備 蓄 倉 庫	H 7. 10. 6	S 造 平 屋 建	165.60㎡	苗場町101
	東 分 署 水 防 倉 庫	東 分 署 併 設		13.00㎡	品野町1-190-1
	南 分 署 倉 庫	S 62. 11. 20	コ ン テ ナ 式	13.70㎡	南山口町143
	東 明 水 防 倉 庫	東 明 分 団 詰 所 併 設		27.00㎡	西窯町94
	陶 原 水 防 倉 庫	瀬 戸 蔵 併 設		22.44㎡	蔵所町1-1
	效 範 水 防 倉 庫	效 範 分 団 詰 所 併 設		22.50㎡	汗干町81-3
	水 野 水 防 倉 庫	水 野 分 団 詰 所 併 設		17.01㎡	中水野町1-155
	品 野 水 防 倉 庫	S 61. 7. 31	コ ン テ ナ 式	13.70㎡	品野町6-108-1
	幡 山 水 防 倉 庫	S 58. 1. 10	C・B造平屋建	39.32㎡	幡山町71
	上 半 田 川 倉 庫	S 63. 2. 22	コ ン テ ナ 式	13.70㎡	上半田川町345
	片 草 倉 庫	H 1. 1. 16	コ ン テ ナ 式	14.64㎡	片草町226-5
下 半 田 川 倉 庫	H 1. 9. 29	コ ン テ ナ 式	14.30㎡	下半田川町843-1	
道 泉 倉 庫	H 27. 3. 29	コ ン テ ナ 式	8.94㎡	西谷町6	
器 具 庫	水 南 器 具 庫	水 南 分 団 詰 所 併 設		16.80㎡	北松山町1-63-2
	陶 原 器 具 庫	陶 原 分 団 詰 所 併 設		12.60㎡	陶原町2-44-1

消 防 車 両 等 配 備 状 況

令和3年4月1日現在

配備	名 称	種 別	登録年月	経年	総排気量	規格	摘 要
消 防 署	ポ ン プ 1 号	ポ ン プ 車	平 2 3 年 1 2 月	9	4.00 L	CD-I	
	タ ン ク 2 号	タ ン ク 車	平 2 1 年 3 月	12	6.40 L	水 II 型	水 2,000 L
	化 学 3 号	化 学 車	平 3 0 年 1 2 月	2	5.19 L	化学 II 型	水 1,300 L 薬液 500 L
	ポ ン プ 1 0 号	ポ ン プ 車	令 3 年 1 月	0	5.12 L	CD-II	水 800 L 救助資器材積載
	梯 子 3 2 号	梯 子 車	平 9 年 1 2 月	23	20.78L	30M 級	
	救 助 4 3 号	救 助 工 作 車	平 1 8 年 1 1 月	14	6.40 L	II 型	電源照明付 ウインチ付
	指 揮 5 1 号	指 揮 車	平 2 8 年 2 月	5	2.69 L		
	指 揮 5 2 号	査 察 車	令 3 年 2 月	0	2.69 L		
	広 報 6 1 号	広 報 車	平 2 7 年 2 月	6	1.49 L		
	広 報 6 2 号	広 報 車	平 2 0 年 8 月	12	0.65 L		
	輸 送 7 1 号	輸 送 車	平 1 8 年 8 月	14	4.89 L		
	査 察 7 4 号	査 察 車	平 3 1 年 2 月	2	1.49 L		
	連 絡 7 8 号	連 絡 車	平 1 5 年 1 月	18	1.76 L		
	救 急 1 号	救 急 車	令 3 年 3 月	0	2.48 L	高規格	
	救 急 2 号	救 急 車	平 2 5 年 3 月	8	2.69 L	高規格	
	救 急 6 号	救 急 車	平 3 0 年 3 月	3	2.69 L	高規格	
	動 - 2	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 7 年 1 0 月	15	175 cc	C-1	
	動 - 6	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 9 年 9 月	13	175 cc	C-1	
動 - 9	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 3 1 年 2 月	2	205 cc	C-1		
動 - 1 5	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 4 年 1 月	9	635 cc	B-3		
東 分 署	タ ン ク 6 号	タ ン ク 車	平 2 4 年 2 月	9	6.40 L	水 II 型	水2,000 L (CAFS)
	ポ ン プ 8 号	ポ ン プ 車	平 2 9 年 3 月	4	4.00 L	CD-I	電動ホースカー付
	輸 送 7 5 号	輸 送 車	平 2 0 年 1 0 月	12	2.95 L		
	査 察 7 6 号	査 察 車	平 2 1 年 8 月	11	1.99 L		
	水 槽 7 7 号	水 槽 車	平 1 5 年 1 0 月	17	10.52 L	付水 II	水 10,000 L
	救 急 3 号	救 急 車	平 2 8 年 3 月	5	3.49 L	高規格	
	動 - 1 4	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 7 年 3 月	26	198 cc	C-1	
	動 - 1 9	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 3 0 年 3 月	3	209 cc	C-1	4 S T
南 分 署	タ ン ク 5 号	タ ン ク 車	平 2 3 年 2 月	10	6.40 L	水 II 型	水2,000 L (CAFS)
	ポ ン プ 9 号	ポ ン プ 車	平 1 2 年 1 0 月	20	4.57 L	CD-I	電動ホースカー付
	空 活 3 1 号	空 中 活 動 車	平 2 6 年 3 月	7	4.00 L	15M 級	
	広 報 6 4 号	広 報 車	平 3 0 年 1 0 月	2	1.49 L		
	輸 送 7 2 号	輸 送 車	平 3 0 年 3 月	3	2.98 L		
	救 急 5 号	救 急 車	平 2 4 年 3 月	9	3.49 L	高規格	
	動 - 4	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 3 年 1 2 月	19	635 cc	B-3	
	動 - 1 6	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 4 年 1 月	9	200 cc	C-1	

配備	名 称	種 別	登録年月	経年	総排気量	規格	摘 要
消 防 団 等	団 活 7 3 号	消 防 団 活 動 車	平 3 0 年 1 2 月	2	2.35L		
	赤 バ イ 1 号	普 通 自 動 二 輪 車	平 1 7 年 2 月	16	0.22L		
	赤 バ イ 2 号	普 通 自 動 二 輪 車	平 1 7 年 2 月	16	0.22L		
	赤 バ イ 3 号	普 通 自 動 二 輪 車	平 1 7 年 2 月	16	0.22L		
	道 泉 分 団	ポ ン プ 車	令 2 年 3 月	1	4.00 L	CD- I	絡車付 定員 6 名
	動 - 3	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 8 年 7 月	4	175 cc	C-1	
	深 川 分 団	ポ ン プ 車	令 2 年 1 1 月	0	2.98 L	CD- I	絡車付 定員 6 名
	動 - 8	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 4 年 1 月	9	200 cc	C-1	
	古 瀬 戸 分 団	ポ ン プ 車	平 1 2 年 1 0 月	20	5.24 L	CD- I	絡車付 定員 8 名
	動 - 1 7	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 6 年 1 月	7	200 cc	C-1	
	東 明 分 団	ポ ン プ 車	平 1 7 年 1 月	16	4.00 L	CD- I	絡車付 定員 8 名
	搬 送 3 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 2 年 7 月	10	0.65 L		
	動 - 1 0	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 3 1 年 2 月	3	205 cc	C-1	
	祖 母 懐 分 団	ポ ン プ 車	平 3 0 年 1 月	3	4.00 L	CD- I	絡車付 定員 6 名
	動 - 2 1	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 7 年 9 月	5	200cc	C-1	
	陶 原 分 団	ポ ン プ 車	平 2 8 年 1 2 月	4	4.00 L	CD- I	絡車付 定員 6 名
	動 - 1 8	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 6 年 1 月	7	200 cc	C-1	
	效 範 分 団	ポ ン プ 車	平 1 3 年 1 1 月	19	5.24 L	CD- I	絡車付 定員 8 名
	動 - 2 0	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 6 年 1 0 月	6	198 cc	C-1	
	水 南 分 団	ポ ン プ 車	平 1 8 年 2 月	15	4.00 L	CD- I	絡車付 定員 8 名
	動 - 2 2	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 7 年 9 月	5	200 cc	C-1	
	水 野 分 団	ポ ン プ 車	平 2 2 年 2 月	11	4.00 L	CD- I	絡車付 定員 6 名
	搬 送 1 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 0 年 1 1 月	12	0.65 L		
	動 - 1 1	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 6 年 1 0 月	6	198 cc	C-1	
	下 品 野 分 団	ポ ン プ 車	平 1 9 年 1 1 月	13	4.00 L	CD- I	絡車付 定員 8 名
	搬 送 4 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 4 年 2 月	9	0.65 L		
	動 - 1 2	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 2 年 1 1 月	20	175 cc	C-1	
	品 野 台 分 団	ポ ン プ 車	平 1 5 年 2 月	18	4.77 L	CD- I	絡車付 定員 8 名 4WD
	搬 送 5 号	資 機 材 搬 送 車	平 3 1 年 3 月	2	0.65 L		
	動 - 1 3	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 4 年 1 月	9	200 cc	C-1	
	幡 山 分 団	ポ ン プ 車	平 2 3 年 1 月	10	4.00 L	CD- I	絡車付 定員 6 名
	搬 送 2 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 1 年 1 0 月	11	0.65 L		
	動 - 1	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 0 年 6 月	22	198 cc	C-1	
	山 口 分 団	ポ ン プ 車	平 2 8 年 3 月	5	4.00 L	CD- I	絡車付 定員 6 名
	搬 送 6 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 8 年 2 月	5	0.65 L		
	動 - 2 3	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 8 年 4 月	5	526cc	B-3	
	上 半 田 川 町 自 警 団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 1 年 1 1 月	21	635 cc	B-3	
	下 半 田 川 町 自 警 団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 3 年 1 月	20	635 cc	B-3	
	定 光 寺 町 自 警 団	資 機 材 搬 送 車	平 1 5 年 1 0 月	17	0.65 L		
	定 光 寺 町 自 警 団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 1 年 1 1 月	21	635 cc	B-3	
片 草 町 自 警 団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 5 年 2 月	8	635 cc	B-3		
白 岩 町 自 警 団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 0 年 2 月	23	635 cc	B-3		

※絡車=ホースカー

主な消防機器保有状況

令和3年4月1日現在

分類	用途	品名	総数	分類	用途	品名	総数	
消 火 活 動 資 機 材	放 水 器 具	ホース 65ミリ	240	救 助	切 断 用 器 具	油圧切断機	2	
		〃 50ミリ	185			エンジンカッター	6	
		〃 40ミリ	31			アーク溶断器	0	
		水幕ホース	9			チェーンソー（予備2含む）	6	
		水幕金具（予備3含む）	6			エアソー・エアーツール	3	
		ホースブリッジ	24			器破 具壊	万能斧	14
		フォグガン	11			さく岩機	1	
		無反動管そう	1			電気ハンマードリル	2	
		可搬消防ポンプ	8			器測 具定 用	有毒ガス検知器	3
救 急 用 資 機 材	活 動 救 急 器 具	自動体外式除細動器（AED）	8	用 資 機 材	呼 吸 保 護 器 具	放射線測定器	6	
		患者監視装置	5			放射線個人線量計	15	
		携帯用酸素蘇生器	5			空気呼吸器	50	
		医療用ポンプ	57			空気ボンベ	139	
	衛 生 用 器 具	救急車室内殺菌装置	2		酸素呼吸器	4		
		救急資材滅菌器	2		酸素ボンベ	12		
		救急白衣殺菌ロッカー	4		送排風機	2		
		うがい器	4		隊員保 護 器 具	耐電衣一式（上衣・ズボン・長靴）	2	
	訓 練 人 形	高度処置シミュレーター	4		耐電手袋	16		
		静脈採血注射モデル	2		耐熱服	2		
		気道管理トレーナー	3		水難救 助 器 具	救命胴衣	21	
		応急手当普及用人形	33		救命浮輪（予備1含む）	5		
		AEDトレーナー	17		救命ボート	1		
		チョーキングマネキン	2		山岳 器 具	バスケットストレッチャー	5	
救 助 用 資 機 材	一 般 救 助 器 具	かぎ付はしご	7	救 助 器 具 の 其 他 の	山岳用担架	2		
		3連はしご	8		緩降機	2		
		金属製折りたたみはしご	0		ロープ登はん機	8		
		空気式救助マット	1		投光器	15		
		救命索発射銃	1		発電機	18		
		救助用ばく帯・カバー・スリング	16		携帯マイク	25		
		集団災害用非常持出担架	24		携帯無線（デ20、署41、可5）	66		
		救助用ロープ12ミリ（200m箱入）	5		対 応 資 機 材 B C 災 害	陽圧式化学防護服	5	
		カラビナ	284			有毒ガス検知管一式	1	
		滑車	48			除染シャワー	1	
		油圧ジャッキ	19			除染剤散布器	1	
		重 量 物 排 除 器 具	油圧スプレッター		2	其 他 の 資 機 材	エアータント（集団災害）	1
			可搬ウインチ		4		簡易防毒衣	20
			ワイヤーロープ		10		オイルフェンス	2
マット型空気ジャッキ一式	3		油処理剤（シーグリーン15kg入）	6				
熱画像直視装置	6		油処理剤（アルファゲル 9kg入）	16				
簡易画像探索器	1		泡消火薬剤（180缶）	47				

水 防 用 資 機 材 備 蓄 状 況

令和3年4月1日現在

水 防 倉 庫 名		合 計	本 署	東分署	南分署	陶 原	団訓練場	水 野	幡 山	品 野	東 明	效 範	水 南
所 在 地			苗場町	品野町	南山口町	蔵所町	熊野町	中水野町	幡山町	品野町	西窯町	汗干町	北松山町
面 積 (㎡)			19.7	13.0	13.7	16.5	1.6	17.0	39.3	13.7	17.5	17.0	16.8
対 象 河 川			瀬戸川	瀬戸川	矢田川	瀬戸川	瀬戸川	水野川	矢田川	水野川	赤津川	瀬戸川	瀬戸川
主 要 資 材	木 く い (本)	2,297	117	114	60	200	0	220	750	413	195	178	50
	ビ ニ ー ル 袋 (袋)	20,279	2,459	100	820	2,000	1,000	600	5,000	2,800	1,200	2,200	2,100
	麻 袋 (袋)	1,245	310	0	15	0	0	0	120	0	0	0	800
	か ま す (枚)	540	30	0	0	0	0	100	210	50	100	0	50
	な わ (玉)	136	8	5	6	0	0	5	21	0	10	6	75
	矢 板 (枚)	743	23	20	0	0	0	100	0	200	100	0	300
	8 番 線 (k g)	1,730	50	80	50	100	0	0	400	50	200	200	600
	鉄 く い (本)	1,038	200	90	35	58	50	0	70	80	150	30	275
	ノ ー リ ッ ツ 番 線 (箱)	41	6	6	4	1	0	1	4	1	1	1	16
主 要 器 材	の こ ぎ り (丁)	150	68	14	12	13	0	0	8	15	20	0	0
	な た の こ セ ッ ト (丁)	36	20	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0
	な た (丁)	75	40	8	10	0	0	0	10	0	7	0	0
	ハ ン マ ー (丁)	41	9	4	7	4	2	0	0	5	0	5	5
	掛 矢 (丁)	89	18	4	9	20	3	2	9	0	1	3	20
	た こ づ ち (丁)	16	5	6	0	1	0	0	0	0	0	0	4
	シ ャ ベ ル (丁)	322	151	22	32	0	15	12	10	0	0	20	60
	つ る は し (丁)	47	21	4	1	6	0	1	11	0	2	1	0
	か ま (丁)	142	79	17	17	0	0	5	5	5	2	5	7
	ク リ ッ パ ー (丁)	43	23	6	10	0	0	0	0	0	4	0	0
	し の (丁)	58	27	11	9	10	0	0	0	0	1	0	0
	バ ッ チ く わ (丁)	9	7	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	防 水 シ ー ト (枚)	238	94	30	50	0	0	16	10	10	10	8	10
	一 輪 車 (台)	12	5	2	2	0	2	0	1	0	0	0	0
水 防 T 型 マ ッ ト	34	2	3	5	0	0	0	0	0	0	0	24	

消 防 水 利 設 置 状 況

令和3年4月1日現在

連 区 別	合 計	防火水槽・貯水槽（公設）				防 火 水 槽 （私設）				消火栓		その他の水利		
		100m ³ 以 上	60～100 m ³ 未満	40～60 m ³ 未満	40m ³ 未 満	100m ³ 以 上	60～100 m ³ 未満	40～60 m ³ 未満	40m ³ 未 満	基準 適合	基準 以外	池	プ ール	そ の 他
道泉	116 (8)			9 (5)	1			3 (3)		77	26			
深川	81 (3)			6 (3)	3			1		65	6			
古瀬戸	104 (2)			11 (2)	4			1		59	26			3
東明	136 (10)			13 (7)	2			2 (2)	1 (1)	81	32	1		4
祖母懐	130 (6) ● 1	2 (2) ● 1		11 (4)	4					84	28		1	
陶原	212 (12)			17 (5)	5			7 (7)		145	34		3	1
長根	252 (12)			14 (7)	1			11 (5)		151	73	1	1	
效範	355 (36) ● 1	2 (2) ● 1		39 (22)				14 (12)		213	83		4	
水南	184 (16)			23 (9)	1	1		16 (7)		87	54		1	1
水野	443 (26)			30 (16)	11	1	8 (2)	23 (8)	15	240	108	3	3	1
下品野	204 (10)	2 (1)		20 (9)	6			2		108	65		1	
品野	178 (10)			13 (8)	5	1	1	3 (2)	4	88	57	2	3	1
幡山	475 (25)			26 (14)	4		3 (1)	17 (8)	6 (2)	287	126	1	3	2
山口	252 (10)			15 (7)	6			9 (3)	2	154	62	2	2	
西陵	163 (9)			15 (6)				2 (2)	1 (1)	133	10		2	
原山台	48 (4)			4 (3)				1 (1)		42			1	
萩山台	79 (1)			3 (1)						52	9		2	13
八幡台	102 (2)			4 (2)						82			1	15
合 計	3,514 (202) ● 2	6 (5) ● 2		273 (130)	53	3	12 (3)	112 (60)	29 (4)	2,148	799			
	● 2	332	(135)	● 2		156	(67)			2,947		10	28	41

() 内は耐震性を有する防火水槽又は耐震性貯水槽を示す。●は飲料水兼用を示す。

第3編

予 防

連 区 別 防 火 対 象 物 状 況

令和3年4月1日現在

項 別	連 区 別	合 計	道	深	古	東	祖	陶	長	效	水	水	西	原	萩	八	品	下	山	本	菱	新
			泉	川	瀬	明	母	原	根	範	南	野	陵	山	台	山	幡	野	野	口	地	野
	合 計	4,491	171	113	121	172	130	306	471	464	220	468	49	64	40	30	230	275	341	426	228	172
1	イ 劇場・映画館	4									3										1	
	ロ 公会堂・集会場	60	1		3	1	4	3	7	7	4	3	2	3	1	1	7	2	5	1	1	4
2	イ キャバレー等	0																				
	ロ 遊 技 場	7							1	1	1								2			2
	ハ 性 風 俗 関 連 店 舗	0																				
	ニ カラオケ等 個 室	1							1													
3	イ 料 理 店 等	0																				
	ロ 飲 食 店	62			1			4	18	3	9	4					1	1	5	9		7
4	百貨店・マーケット	156	4	3	4		1	17	29	16	9	7	3	2			1	7	11	24	3	15
5	イ 旅館・ホテル	10		1						2	2	3					2					
	ロ 共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎	899	20	6	19	6	14	46	109	141	61	25	10	33	27	21	18	32	136	44	91	40
6	イ 病院・診療所	54	1	3			1	6	3	11	8	2	1	2		1	3	2	3	3	1	3
	ロ 福祉施設等 入所施設等	56		2	5	1		5	8	5	3	7			1		5	2	4	4	3	1
	ハ 福祉施設等 保 育 所 等	75	2	3	1		1	6	9	6	4	8	3	2	3	2	3	3	10	3	3	3
	ニ 幼 稚 園	13			1				1		2		4	2	1	1			1			
7	学校・各種学校	167	5		3		7	25	8	12	9	14	11	2	3	2	32	2	11	1	13	7
8	図書館・美術館等	18		1			3	1			3	1							8		1	
9	イ 特殊浴場	0																				
	ロ イ以外の 公衆浴場	2						2														
10	停 車 場	3	1								1											1
11	神 社 ・ 教 会	74	5	5	5	3	5	3	13	6	3	4	1				4	2	7	3	4	1
12	イ 工場・作業所	1,265	67	41	45	103	57	60	90	60	31	225	2				87	111	45	167	47	27
	ロ テレ ビ ス タ ジ オ 等	0																				
13	イ 自動車車庫	59	1	1	3	4		5	8	5	8	8					3	1	2	3	2	5
	ロ 飛 行 機 の 格 納 庫	0																				
14	倉 庫	468	21	10	13	27	7	26	53	35	13	60	1				24	42	27	81	17	11
15	事 務 所 等	440	9	6	7	22	9	29	44	42	14	62	3	2	1		29	52	28	51	20	10
16	イ 複 合 用 途 (特 定)	331	24	19	4	1	10	34	38	64	24	16	5	14	3	1	5	6	20	14	7	22
	ロ 複 合 用 途 (非 特 定)	263	9	10	7	4	11	34	31	48	11	15	3	2		1	6	10	18	16	14	13
16の2	地 下 街	0																				
16の3	準 地 下 街	0																				
17	重 要 文 化 財	1									1											
18	ア ー ケ ー ド	3	1	2																		
19	指 定 山 林	0																				
20	指 定 舟 車	0																				

査 察 実 施 率 の 推 移

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
瀬戸市	20.6	20.6	20.6	21.1	8.59
愛知県	18.7	18.7	15.1	17.0	※
全 国	21.6	21.6	21.4	19.6	※

※ 令和2年度の全国及び愛知県の査察実施率は、令和3年7月現在未発表

査察実施計画における査察対象物抽出基準及び実施周期（特定防火対象物）

項別		主な対象物	査察対象物抽出基準	令和2年度 実施周期(年)
1	イ ロ	劇場、映画館等 公会堂、集会場	防火対象物点検対象	実施対象外
			公民館 ※一部は(ロ)項イに含む。	
			上記以外（集会所等）	
2	イ ロ ハ ニ	キャバレー等 遊技場等 性風俗関連特殊営業店舗 個室を有する店舗	防火対象物点検対象（1,000㎡以上を除く）	3
			自動火災報知設備あり（1,000㎡以上を除く）	対象物なし
			自動火災報知設備あり（1,000㎡以上）	
			上記以外	
3	イ ロ	料理店等 飲食店	防火対象物点検対象（1,000㎡以上を除く）	3
			自動火災報知設備あり又は避難器具あり（1,000㎡以上を除く）	実施対象外
			自動火災報知設備あり（1,000㎡以上）	
			収容人員30人以上 上記以外	
4		百貨店、マーケット等、展示場	防火対象物点検対象	3
			収容人員30人以上かつ1,000㎡以上	
			収容人員30人以上かつ1,000㎡未満	
			自動火災報知設備あり又は避難器具あり（1,000㎡以上を除く） 上記以外	
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	全て	実施対象外
6	イ	病院、診療所	全て	実施対象外
	ロ ハ	福祉施設、更生施設	児童発達支援センター等	実施対象外
			老人デイサービスセンター等	
上記以外				
ニ	幼稚園、特別支援学校	防火対象物点検対象	実施対象外	
		上記以外		
9	イ	特殊浴場	全て	対象物なし
16	イ	複合用途	収容人員30人以上かつ3階建て以上	実施対象外
			収容人員30人以上かつ2階建て以下	
			自動火災報知設備あり又は避難器具あり（1,000㎡以上を除く）	
			6項ロ、ハ、ニが含まれているもの	
			上記以外	

査察実施計画における査察対象物抽出基準及び実施周期（非特定防火対象物）

令和2年度

項別	主な対象物	査察対象物抽出基準	実施周期(年)	
5	ロ	共同住宅、下宿、寄宿舎	3階建て以上かつ収容人員50人未満	4
			収容人員50人以上	
			上記以外	
7	小学校、中学校、各種学校等	小中学校	7	
		上記以外		
8	図書館、博物館、美術館等	全て	実施対象外	
9	ロ	(9)項イ以外の公衆浴場	全て	実施対象外
10		車両の停車場等	自動火災報知設備あり	実施対象外
			上記以外	
11		神社、寺院、教会等	消火器あり	実施対象外
			上記以外	
12	イ	工場、作業場	延べ面積500㎡以上	5
			自動火災報知設備あり1,400㎡以上	
			上記以外	
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	全て	対象物なし
13	イ	自動車車庫、駐車場	延べ面積1,000㎡以上	実施対象外
			上記以外	
	ロ	飛行機等の格納庫	全て	対象物なし
14		倉庫	延べ面積500㎡以上	5
			上記以外	
15		事務所等	延べ面積1,000㎡以上	5
			自動火災報知設備あり又は避難器具あり(1,000㎡未満)	
			収容人員50人以上(1,000㎡未満を除く)	
			上記以外	実施対象外
16	ロ	複合用途	自動火災報知設備あり又は避難器具あり	10
			延べ面積500㎡以上	
			消火器あり500㎡未満	4
			上記以外	
17		重要文化財等	全て	実施対象外
18		延長50m以上のアーケード	全て	実施対象外

中高層建築物・地階用途別状況

令和3年4月1日現在

項 別	階 別	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	地階
	合 計	640	151	110	36	23	26	13	10	14	5	4	6	6	151
1	イ 劇場・映画館														
	ロ 公会堂・集会場	3	2												1
2	イ キャバレー等														
	ロ 遊 技 場	1													
	ハ 性風俗関連店舗														
	ニ カラオケ等個室														
3	イ 料 理 店 等														
	ロ 飲 食 店	4													1
4	百貨店・マーケット	10	4												6
5	イ 旅館・ホテル	3	1	1			1								2
	ロ 共同住宅・寄宿舎	144	60	89	21	17	20	11	8	11	5	4	6	6	19
6	イ 病院・診療所	8	4	2	2		1		1						4
	ロ 福祉施設等	8	3												
	ハ 福祉施設等	4				1		1							4
	ニ 幼 稚 園	4													2
7	学校・各種学校	44	16	2	1										15
8	図書館・美術館等	3													4
9	イ 特殊浴場														
	ロ イ以外の公衆浴場	1													
10	停 車 場														
11	神 社 ・ 教 会	5	1												4
12	イ 工場・作業所	88	9	1	1										18
	ロ テレビスタジオ等														
13	イ 自動車車庫	3	2	2											4
	ロ 飛行機等の格納庫														
14	倉 庫	42	10	1											12
15	事 務 所 等	64	9	4	4	2									28
16	イ 複合用途(特定)	99	21	4	4	2	4	1		1					19
	ロ 複合用途(非特定)	102	9	4	3	1			1	2					8
16の2	地 下 街														
16の3	準 地 下 街														
17	重 要 文 化 財														
18	ア ー ケ ード														
19	指 定 山 林														
20	指 定 船 車														

防 火 管 理 者 選 任 状 況

令和3年4月1日現在

項別	区 分		防火管理者の選任が必要な防火対象物数	防火管理者の選任届が提出されている防火対象物数	届出率%
	合 計				
	合 計		1,024	893	87
1	イ	劇場・映画館	4	4	100
	ロ	公会堂・集会場	112	78	70
2	イ	キャバレー等	—	—	—
	ロ	遊 技 場	7	7	100
	ハ	性風俗関連店舗	—	—	—
	ニ	個室を有する店舗	1	1	100
3	イ	料 理 店 等	—	—	—
	ロ	飲 食 店	72	60	83
4	百貨店・マーケット		124	114	92
5	イ	旅館・ホテル	10	10	100
	ロ	共同住宅・寄宿舎	138	131	95
6	イ	病院・診療所	19	17	89
	ロ	福祉施設・更正施設	59	55	93
	ハ	福祉施設・更正施設	59	57	97
	ニ	幼 稚 園	9	9	100
7	学校・各種学校		47	44	94
8	図書館・美術館等		9	9	100
9	イ	特 殊 浴 場	—	—	—
	ロ	イ以外の公衆浴場	2	2	100
10	停 車 場		—	—	—
11	神 社 ・ 教 会		35	24	69
12	イ	工 場 ・ 作 業 所	73	65	89
	ロ	テレビスタジオ等	—	—	—
13	イ	自 動 車 車 庫	—	—	—
	ロ	飛行機等の格納庫	—	—	—
14	倉 庫		10	9	90
15	事 務 所 等		81	65	80
16	イ	複合用途(特定)	128 (16)	110 (14)	86 (88)
	ロ	複合用途(非特定)	24 (3)	21 (2)	88 (67)
16の2	地 下 街		—	—	—
16の3	準 地 下 街		—	—	—
17	重 要 文 化 財		1	1	100
18	ア ー ケ ー ド		—	—	—
19	指 定 山 林		—	—	—
20	指 定 舟 車		—	—	—

() 内は統括防火管理対象物を再掲

防 火 管 理 講 習 実 施 状 況

令和2年度

甲種防火管理新規講習		甲種防火管理再講習		乙種防火管理講習	
回数	修了者数	回数	修了者数	回数	修了者数
1	87	1	21	1	10

※ 一般財団法人日本防火・防災協会(外部委託)開催の講習受講者数

危険物施設等連區別設置状況

令和3年4月1日現在

連區別 施設別		合計	連區別																			
			道 泉	深 川	古 瀬 戸	東 明	祖 母 懐	陶 原	長 根	效 範	水 南	水 野	西 陵	原 山 台	萩 山 台	八 幡 台	品 野	下 品 野	山 口	本 地	菱 野	新 郷
危険物施設	製造所	306	10	2	5	24	2	10	26	13	14	67	0	0	0	0	14	31	12	28	44	4
	貯蔵所	3										1					2					
	屋内(特定)	202	8	2	2	14	2	6	16	8	8	47	0	0	0	0	11	20	6	20	30	2
	(8)	46		1		2		1	1	2		20				1	2		12	3	1	
	屋外タンク	25				8						7						6	1	1	2	
	屋内タンク	28	4	1	1	3	1	2	2	2		5				1	3	1	2			
	地下タンク	40			1		1	1	5	3	5	8					3	1	4	1	6	1
	簡易タンク	5				1											4					
	移動タンク	52	4					2	8	1	3	7					2	7		3	15	
	屋外	6																1		1	4	
	取扱所	101	2	0	3	10	0	4	10	5	6	19	0	0	0	0	3	9	6	8	14	2
	給油(自家用)	54			2	3		4	7	3	2	6					3	5	4	5	8	2
	(28)	46			(2)	(3)		(1)	(2)	(1)	(1)	(3)					(2)	(1)	(2)	(4)	(6)	
	一般販売	46	2		1	7			3	2	4	13						4	2	2	6	
	1	1																		1		
貯蔵・取扱数量別	306	10	2	5	24	2	10	26	13	14	67	0	0	0	0	14	31	12	28	44	4	
指定数量の5倍以下	125	7			6	2	4	11	6	3	34					10	10	6	9	16	1	
5倍を超え10倍以下	60	2	1	2	8			3	2	5	13					1	7	3	8	4	1	
10倍を超え50倍以下	81	1	1	2	8		3	7	3	5	11					2	8	1	10	19		
50倍を超え100倍以下	11			1	2						3					1	1			3		
100倍を超え150倍以下	8						1	1			3						3					
150倍を超え200倍以下	6										1						2		1	2		
200倍を超え250倍以下	5						1	2	1		1											
250倍を超え300倍以下	8						1	2	1	1								1			2	
300倍を超えるもの	2										1							1				
少量危険物施設	558	22	15	18	39	23	35	36	40	20	90	4	5	3	2	42	31	22	78	14	19	
指定可燃物施設	110	2		2	10	1	5	7	3	1	32					8	5	5	25	3	1	
圧縮アセチレンガス施設	3									1								1	1			
液化石油ガス施設	1,015	36	31	53	85	47	54	78	71	42	84	6				69	100	101	56	62	40	
毒物・劇物施設	25		1		5					3	1	3					2	1	3	6		

() 内は再掲

危険物施設に関する申請等の件数

令和2年度

申請等の区分	施設区分	合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
				屋内(特定)	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	(自家用)	一般	販売
合計		76	5	4	14	0	3	0	3	0	27	0	18	2
許可	設置	1												1
	変更	22	2	1	2		1		1		9		6	
完成検査		22	2	1	2		1		1		9		5	1
仮使用承認		20	1	1	2		1				9		6	
廃止・転出		11		1 (1)	8				1				1	
予防規程認可		0												
完成検査前検査		0												
仮貯蔵・仮取扱承認		0												

() 内は再掲

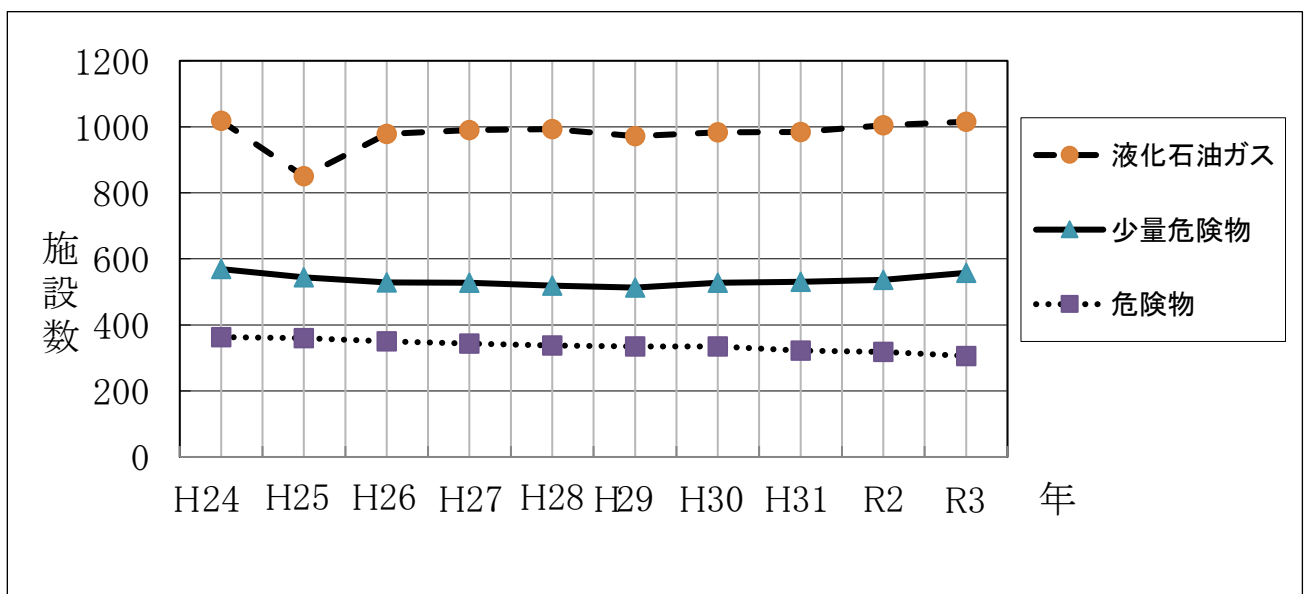
危険物施設等の10年間の推移

各年度4月1日現在

年度別		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
施設別	施設別	363	360	350	343	338	335	335	322	318	306	
	危険物施設	製造所	1	1	1	1	1	3	3	3	3	3
貯蔵所		屋内 (特定)	39 (8)	39 (8)	39 (8)	41 (8)	43 (8)	44 (9)	44 (8)	45 (8)	47 (8)	46 (8)
		屋外タンク	36	36	35	35	34	34	36	33	33	25
		屋内タンク	36	33	33	33	33	33	33	32	30	28
		地下タンク	54	51	48	48	48	44	43	41	40	40
		簡易タンク	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5
		移動タンク	73	72	68	64	57	58	56	53	53	52
		屋外	5	5	5	5	6	5	6	5	6	6
取扱所		給油 (自家用)	61 (30)	62 (31)	60 (30)	58 (29)	57 (30)	56 (29)	55 (29)	55 (29)	54 (28)	54 (28)
		一般	53	56	56	53	54	53	54	50	47	46
		販売	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1
少量危険物施設		569	554	529	528	519	513	528	531	536	558	
液化石油ガス施設		1,018	850	978	990	993	972	980	984	1,005	1,015	

() 内は再掲

危険物施設等の推移



消 防 関 係 団 体

瀬 戸 防 火 防 災 協 会 連 合 会

地域の防火防災思想の高揚と、防災体制の確立を図るため、昭和44年に組織され、20連区の自治会を単位に自主防災リーダー及び防火防災委員を委嘱し、「自分たちのまちは、自分たちで守る。」を合言葉に、市内全域の防火防災に関する連合組織として活動しています。

〈防火防災委員〉

令和3年4月1日現在

連 区 名	人 員	連 区 名	人 員
道 泉	34	西 陵	44
深 川	36	原 山 台	10
古 瀬 戸	17	萩 山 台	59
東 明	13	八 幡 台	45
祖 母 懐	21	品 野	27
陶 原	31	下 品 野	17
長 根	52	山 口	18
效 範	64	本 地	15
水 南	18	菱 野	12
水 野	21	新 郷	20
		合 計	574

〈自主防災リーダー〉

令和3年4月1日現在

連 区 名	人 員	連 区 名	人 員
道 泉	14	西 陵	16
深 川	9	原 山 台	10
古 瀬 戸	17	萩 山 台	11
東 明	28	八 幡 台	33
祖 母 懐	17	品 野	35
陶 原	34	下 品 野	14
長 根	41	山 口	38
效 範	37	本 地	16
水 南	14	菱 野	18
水 野	23	新 郷	11
		合 計	436

街 頭 消 火 器 設 置 整 備 事 業

初期消火体制の確立を図るため昭和49年から市内各所に消火器の設置整備を始めました。その後、名称を「街頭消火器設置整備事業」とし更新維持管理を実施しています。

令和3年4月1日現在

連 区 名	世 帯 数	消 火 器 設 置 本 数	令 和 2 年 度 更 新 状 況 内 訳
道 泉	1,899	87	9
深 川	1,170	66	8
古 瀬 戸	1,627	74	14
東 明	1,641	68	7
祖 母 懐	1,256	85	15
陶 原	3,413	108	18
長 根	4,166	108	13
效 範	7,922	202	21
水 南	4,647	121	11
水 野	3,800	136	15
西 陵	3,160	91	9
原 山 台	1,818	56	8
萩 山 台	1,587	64	4
八 幡 台	2,040	84	5
品 野	1,603	85	7
下 品 野	3,256	97	3
山 口	4,394	135	2
本 地	2,531	84	7
菱 野	2,437	46	6
新 郷	2,796	79	1
合 計	57,163	1,876	183

瀬戸市危険物安全協会

この協会は、危険物、液化石油ガスに起因する災害の発生を防止し、社会公共の福祉の増進に寄与する目的で昭和32年4月に設立されました。

危険物等の貯蔵、取扱いに必要な知識、技術の習得、施設の適正管理及び一般火災予防に関する知識の普及等活発な活動を行っています。

令和3年4月1日現在

名称 合計	愛知県陶磁器工業協同組合						品野工組	赤津焼工組	硅砂組合	浴場組合	自家給	石油組合	企業団地	油関係	エール旭ガス	その他	
	テーパーウェア	陶芸	赤津製品	オーナメント	工業品	ファイレンセラミックス											
304	29	11	10	27	37	18	31	6	8	2	16	18	15	3	18	55	
	132																

瀬戸市自衛消防連絡協議会

昭和52年に地域及び事業所の自衛消防組織をもって協議会が発足されました。

各組織とも可搬消防ポンプ等を装備した消防隊を編成し、事業所における火災等、各種災害の防ぎょ活動や予防広報活動を行っています。

〈事業所自衛消防隊〉

令和3年4月1日現在

結成年月日	隊名	人員	結成年月日	隊名	人員
S45.12.1	㈱成田製陶所本社工場自衛消防隊	5	S61.3.10	リンナイ(㈱瀬戸工場自衛消防隊	10
S47.4.1	㈱成田製陶所山口工場自衛消防隊	23	H2.10.1	品野セラミックタイル工業(㈱自衛消防隊	18
S49.8.1	東芝ライフスタイル(㈱愛知事業所自衛消防隊	7	〃	豊精密工業(㈱)消防隊	10
S50.7.1	㈱マルイチ自衛消防隊	7	H6.4.1	富士特殊紙業(㈱)自衛消防隊	13
S52.4.1	伊藤忠セラテック(㈱)自衛消防隊	13	H13.4.1	河村電器産業(㈱)本地地区自衛消防隊	18
S56.2.1	河村電器産業(㈱)暁地区自衛消防隊	19	H20.4.1	豊田合成(㈱)瀬戸工場自衛防災隊	55
S56.4.1	ホーユー(㈱)瀬戸工場自衛消防隊	39	H21.8.6	テクノエイト(㈱)自衛消防隊	50
S57.4.1	鈴一物産(㈱)自衛消防隊	7	H30.8.31	名糖産業(㈱)瀬戸工場自衛消防隊	69
S59.3.30	㈱東濃LIXIL製作所瀬戸工場自衛消防団	12	H30.9.13	リンナイ(㈱)暁工場自衛消防隊	5
			合計	18隊	380

自警団

可搬消防ポンプを装備し、地域における火災等、各種災害の防ぎょ活動や予防広報活動を行っています。

令和3年4月1日現在

結成年月日	団名	人員	結成年月日	団名	人員
S41.4.1	上半田川町自警団	8	S44.4.1	片草町自警団	4
〃	下半田川町自警団	30	S52.7.1	白岩町自警団	6
〃	定光寺町自警団	27	合計	5団	75

瀬戸市婦人消防隊連絡協議会

各地域婦人（女性）防火クラブ相互の連絡協調を図り、家庭における火災予防思想の普及を目的として、平成元年4月1日に協議会が発足されました。

令和3年4月1日現在

結成年月日	クラブ名称	人員	結成年月日	クラブ名称	人員
S58. 4. 1	定光寺町婦人防火クラブ	41	H 2. 8. 20	道泉女性防火クラブ	57
S59. 11. 25	陶原婦人防火クラブ	11	H 9. 4. 1	下品野女性防火クラブ	38
S60. 12. 15	深川婦人防火クラブ	19	H13. 3. 30	祖母懐婦人防火クラブ	28
S62. 7. 14	幡山女性防火クラブ	39	H21. 8. 27	西陵女性防火クラブ	30
H 1. 8. 10	水野婦人防火クラブ	20	H27. 9. 28	效範女性防火クラブ	23
			合 計	10クラブ	306

瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会

学校教育の課外活動や地域活動の中で防火思想の普及啓発活動を行っています。また、平成12年4月1日に少年消防クラブから瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会に名称を変更し設立しました。

令和3年4月1日現在

結成年月日	クラブ名	人員	結成年月日	クラブ名	人員
S36. 6. 19	水南小学校少年消防クラブ	496	S60. 6. 17	幡山東小学校少年消防クラブ	549
S43. 1. 20	長根小学校少年消防クラブ	538	H18. 7. 6	幡山西小学校少年消防クラブ	548
S56. 9. 18	品野台少年消防クラブ	91	H23. 7. 8	特別支援学校少年消防クラブ	27
S57. 7. 18	八幡小学校少年消防クラブ	201	H23. 7. 20	陶原小学校少年消防クラブ	566
S60. 4. 1	西陵小学校少年消防クラブ	729	H23. 7. 25	效範小学校少年消防クラブ	571
〃	下品野小学校少年消防クラブ	414	H24. 6. 21	掛川小学校少年消防クラブ	26
S60. 6. 1	東山小学校少年消防クラブ	515	H24. 6. 25	原山小学校少年消防クラブ	179
〃	水野小学校少年消防クラブ	483	R2. 4. 1	にじの丘小学校少年消防クラブ	689
S60. 6. 3	萩山小学校少年消防クラブ	86	合 計	17クラブ	6,708

結成年月日	クラブ名	人員	結成年月日	クラブ名	人員
H23. 4. 1	幡山中学校少年消防クラブ	548	H24. 6	品野中学校少年消防クラブ	250
〃	水野中学校少年消防クラブ	553	H26. 4. 1	特別支援学校少年消防クラブ	17
H23. 7. 20	南山中学校少年消防クラブ	959	R2. 4. 1	にじの丘中学校少年消防クラブ	245
H24. 5	水無瀬中学校少年消防クラブ	563	合 計	8クラブ	3,368
H24. 5	光陵中学校少年消防クラブ	233			

瀬戸市幼年消防クラブ

このクラブは、幼年期において正しい火の取扱いについて学び、火の怖さを学ぶことで、火遊び等による火災の減少を図り、将来の地域防災を担う人材を育成するとともに、園児を介して家族等にも防火等に関する広報活動を行うことを目的に平成23年5月23日に結成されました。

令和3年4月1日現在

加入年月日	園名	人員	加入年月日	園名	人員
H23.5.23	幡山南保育園	85	H23.5.23	瀬戸北保育園	76
H23.5.23	八幡保育園	81	H23.5.23	萩山保育園	86
H23.5.23	水北保育園	108	H23.5.23	みずの保育園	77
H23.5.23	古瀬戸保育園	61	H23.5.23	ふたば保育園	70
H23.5.23	アートチャイルドケア瀬戸幡山西 (旧幡山西保育園)	116	H23.5.23	キッズプラザアスク 新瀬	112
H23.5.23	品野西保育園	86	H23.5.23	ひなご幼稚園	200
H23.5.23	こうはん保育園	93	H23.5.23	雪の聖母幼稚園	75
H23.5.23	原山保育園	79	H23.5.23	マリア幼稚園	240
H23.5.23	水南保育園	98	H23.5.23	真貴幼稚園	344
H23.5.23	西保育園	109	H23.5.23	菱野幼稚園	371
H23.5.23	南保育園	113	H23.5.23	はちまん幼稚園	222
H23.5.23	幡山東保育園	120	H23.5.23	瀬戸幼稚園	337
H23.5.23	アートチャイルドケア瀬戸南山 (旧こうはん南保育園)	108	合計	26園	3,576
H23.5.23	東保育園	109			

防 災 会

防災会は、アーケード内の商店街を中心として、隣接する密集家屋等の特殊地域を火災から守るため、消火訓練や各種の防火思想の普及活動をしています。

令和3年4月1日現在

結成年月日	名 称	人 員
S55.12.1	末広町防災会	7
S56.12.1	朝日町防災会	10

安心・安全トピックス

わんわん消防隊

近年のペットブームを受け、飼い主とペットが定期的に行う散歩又は飼い主同士のコミュニケーションの場を利用し、防火・防災等のPRをすることを目的として発足しました（平成24年11月）。

朝夕に見かける飼い主とペットの散歩は非常に多く、愛犬に消防隊メダルを着けてもらうとともに、飼い主には消防隊員証を発行し、消防隊員という名の下、防火意識の普及啓発に効果をあげています。

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
登録状況（頭）	237	236	247	257	254	262	273	273



火の用心



救急安心たまご

救急安心たまごは、緊急連絡先や既往歴などの必要事項を記入した安心カードをたまご型のカプセルに入れて、自宅冷蔵庫のたまごケースに保管しておきます。

冷蔵庫のドアに貼られたシールを目印に、救急隊が傷病者の情報を正確に入手する手段として活用します。

救急安心たまご配布状況（平成22年度から）

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
配布数	2,991	1,311	1,046	970	523	410	649	667	884	677	769

合計

10,897

第4編

火災統計

令和2年中の火災発生状況と前年との比較

区 分	令和2年 (A)	令和元年 (B)	増減 (A)-(B)=(C)	増減率 (%) (C)/(B)×100
出火件数 (件)	25	38	▲ 13	▲ 34.2
建物火災	11	20	▲ 9	▲ 45.0
林野火災	2	0	2	▲ 200.0
車両火災	4	3	1	33.3
船舶火災	0	0	0	-
航空機火災	0	0	0	-
その他火災	8	15	▲ 7	▲ 46.7
焼損棟数 (棟)	16	32	▲ 16	▲ 50.0
全焼	4	9	▲ 5	▲ 55.6
半焼	2	1	1	100.0
部分焼	2	12	▲ 10	▲ 83.3
ぼや	8	10	▲ 2	▲ 20.0
建物焼損床面積 (㎡)	465	1,230	▲ 765	▲ 62.2
建物焼損表面積 (㎡)	27	44	▲ 17	▲ 38.6
林野焼損面積 (a)	1	0	1	-
死者 (人)	0	0	0	-
負傷者 (人)	7	9	▲ 2	-
り災世帯数 (世帯)	12	19	▲ 7	▲ 36.8
全損	2	4	▲ 2	▲ 50.0
半損	1	0	1	-
小損	9	15	▲ 6	▲ 40.0
り災人員 (人)	33	42	▲ 9	▲ 21.4
損害額 (千円)	24,727	130,757	▲ 106,030	▲ 81.1
建物火災	24,574	129,272	▲ 104,698	▲ 81.0
林野火災	0	0	0	-
車両火災	145	559	▲ 414	▲ 74.1
船舶火災	0	0	0	-
航空機火災	0	0	0	-
その他火災	8	926	▲ 918	▲ 99.1
出火率 (件/万人)	1.9	2.9	▲ 1.0	—

[備考]出火率：人口1万人当たりの出火件数

※ ▲は減少を示す。

人 口：令和2年4月1日の住民基本台帳による（国内在住の外国人を含む）。

原因別・用途別火災状況

令和2年中

用途 出火原因	出火件数合計		建物火災							林野火災	車両火災	その他火災	焼損面積		死傷者数		損害額 (千円)
			小計	住宅		産業用			建物 (㎡)				林野 (a)	死者	負傷者		
				専用住宅	併用住宅	事務所	工場・作業所	店舗								その他	
放火	4	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	1	3,236	
放火の疑い		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	
たき火	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	
たばこ	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	17	
ストーブ	2	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	79	0	0	2	10,881	
こんろ	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
電灯・電話等の配線	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6	
排気管	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	38	
電気機器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	106	
炉	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
その他	5	2	2	0	0	0	0	0	1	1	1	157	1	0	1	7,311	
不明・調査中	4	3	3	0	0	0	0	0	0	1	0	203	0	0	2	3,132	
合計	25	11	10	0	0	0	0	1	2	4	8	465	1	0	7	24,727	

初期消火実施状況

令和2年中

区分 火災種別	火災件数 (A)	初期消火 実施件数 (B)	初期消火の種類				実施率(% (B)/(A))	令和元年 実施率(%)
			消火器	水バケツ	水道水・ 汲み置き水等	その他		
建物火災	11	7	2	0	4	1	63.6	60.0
林野火災	2	1	0	0	0	1	50.0	-
車両火災	4	3	1	0	1	1	75.0	33.3
その他火災	8	7	1	1	1	4	87.5	53.3
合計	25	18	4	1	6	7	72.0	55.3

出火原因別（発火源・経過・着火物）火災発生件数

令和2年中

原因	計	発火源	計	経過	計	着火物	計
放火・放火の疑い	4	ライター	2	放火	2	枯草	1
		不明	2	放火の疑い	2	寝具（毛布）	1
						その他	2
たき火	3	たき火	3	火源が動いて接触する	2	枯草	2
				残り火の処置が不十分	1	芝草	1
たばこ	2	たばこ	2	不適當なところに捨て置く	1	枯草	1
				火源が転倒落下する	1	畳	1
ストーブ	2	石油ストーブ（開放式）	1	可燃物が火源の上に転倒落下する	1	紙製品	1
		電気ストーブ	1	可燃物が動いて火源に触れる	1	繊維製品	1
こんろ	1	ガステーブル	1	可燃物が動いて火源に触れる	1	衣類	1
電灯・電話等の配線	1	配電線（高圧）	1	漏電（地絡）する	1	立木	1
排気管	1	排気管	1	過熱する	1	第4石油類	1
電気機器	1	蓄電池	1	金属の接触部が過熱する	1	合成樹脂と成形品	1
炉	1	焼肉炉	1	可燃物が火源の上に転倒落下する	1	その他	1
その他	5	電気トースター	1	考え違いにより使用を誤る	1	合成樹脂の成形品	1
		その他の火花	1	火花が飛ぶ	2	枯草	1
		金属と金属との衝撃火花	1			第二石油類	1
		ハンドトーチ	1	放置する、忘れる	1	合成樹脂屑	1
		その他の火の粉	1	火の粉が散る遠くへ飛火する	1	落葉	1
不明・調査中	4	不明	4	不明	4	その他	1
						不明	3

署 所 別・連 区 別 火 災 状 況

令和2年中

区分 署所別・連区別	出火件数					焼損棟数	焼損面積		死傷者数		り災世帯数	り災人員	損害額 (千円)
	合計	建物	林野	車両	その他		建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者			
消防署	9	4	0	2	3	8	424	0	0	2	4	11	20,676
東分署	7	3	1	1	2	3	14	0	0	3	3	14	713
南分署	9	4	1	1	3	5	27	1	0	2	5	8	3,338
合計	25	11	2	4	8	16	465	1	0	7	12	33	24,727
道 泉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
深 川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古瀬戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東 明	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
祖母懐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陶 原	2	2	0	0	0	3	222	0	0	1	2	7	17,608
長 根	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
效 範	3	1	0	1	1	1	0	0	0	1	1	3	38
水 南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 野	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
西 陵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原山台	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	100
萩山台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡台	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1
品 野	6	3	1	1	1	6	216	0	0	3	3	10	3,726
下品野	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5	17
山 口	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
本 地	2	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
菱 野	1	1	0	0	0	2	26	0	0	0	2	5	3,236
新 郷	2	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1	1

曜 日 別 ・ 月 別 火 災 状 況

令和2年中

区分 曜日・月	出火件数					焼 損 棟 数	焼 損 面 積		死 傷 者 数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員	損 害 額 (千円)
	合計	建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
月曜日	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
火曜日	3	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	144
水曜日	4	2	0	1	1	2	65	0	0	1	1	3	10,297
木曜日	5	1	1	0	3	2	26	1	0	0	2	5	3,236
金曜日	4	1	0	1	2	1	0	0	0	2	1	4	1
土曜日	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	100
日曜日	7	6	1	0	0	10	373	0	0	3	7	20	10,949
合 計	25	11	2	4	8	16	465	1	0	7	12	33	24,727
1 月	2	1	0	1	0	1	65	0	0	1	0	0	10,298
2 月	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	106
3 月	5	2	0	1	2	2	15	0	0	3	2	6	722
4 月	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
5 月	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
6 月	2	1	0	0	1	1	0	0	0	1	1	3	0
7 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 月	5	1	2	0	2	2	157	1	0	1	2	7	7,317
9 月	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	5	17
10 月	1	1	0	0	0	2	26	0	0	0	2	5	3,236
11 月	2	1	0	1	0	4	202	0	0	0	1	1	3,030
12 月	2	2	0	0	0	2	0	0	0	1	2	5	1

天 候 別 火 災 状 況

令和2年中

区分 天 候	出火件数					焼 損 棟 数	焼 損 面 積		死 傷 者 数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員	損 害 額 (千円)
	合計	建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
快晴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
晴	17	5	2	4	6	6	223	1	0	5	5	15	17,859
曇	6	4	0	0	2	7	216	0	0	2	4	12	3,632
雨	2	2	0	0	0	3	26	0	0	0	3	6	3,236
雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	25	11	2	4	8	16	465	1	0	7	12	33	24,727

時 間 別 火 災 状 況

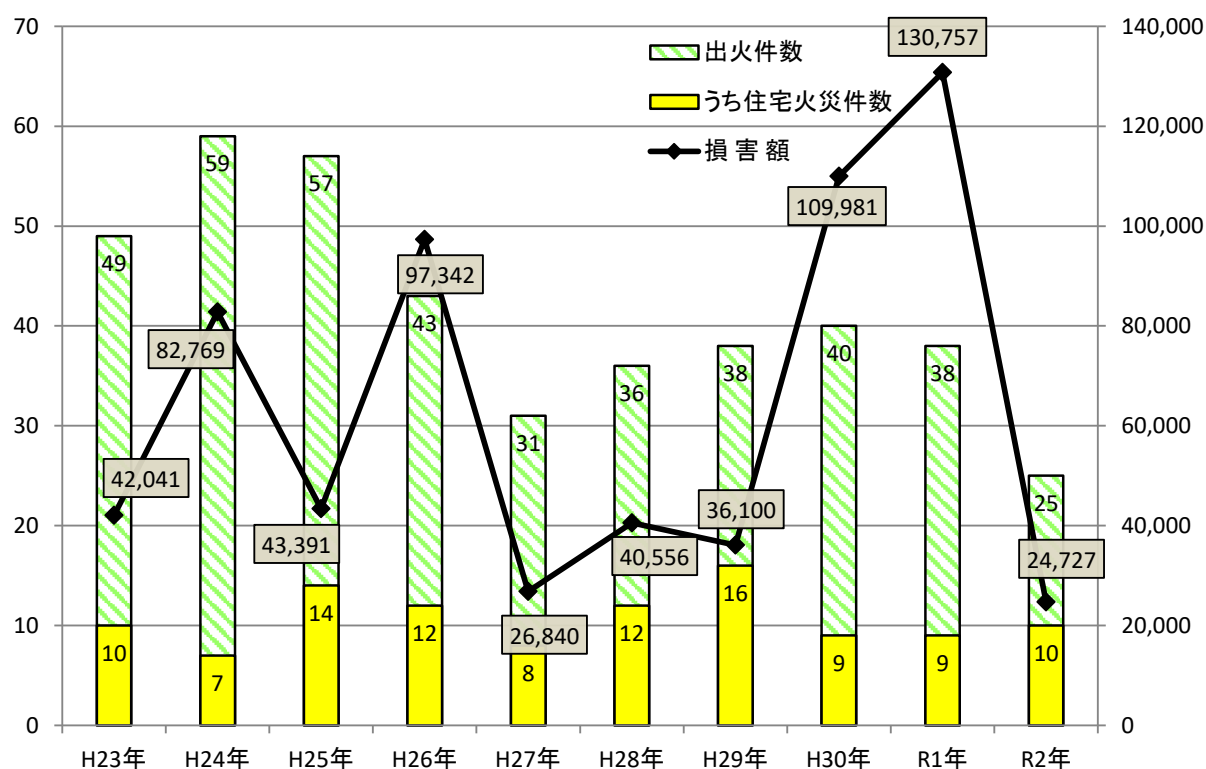
令和2年中

区分 時間	出火件数					焼損棟数	焼損面積		死傷者数		り災世帯数	り災人員	損害額 (千円)
	合計	建物	林野	車両	その他		建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者			
0時～1時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1時～2時	2	2	0	0	0	3	26	0	0	1	3	9	3,236
2時～3時	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
3時～4時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4時～5時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5時～6時	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	100
6時～7時	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	3	0
7時～8時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8時～9時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9時～10時	2	1	0	1	0	2	157	0	0	1	2	7	7,349
10時～11時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11時～12時	3	1	0	0	2	1	0	0	0	0	1	5	17
12時～13時	3	0	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0
13時～14時	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
14時～15時	3	1	0	2	0	1	65	0	0	0	0	0	10,403
15時～16時	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1
16時～17時	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1
17時～18時	1	1	0	0	0	1	14	0	0	2	1	5	584
18時～19時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19時～20時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20時～21時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21時～22時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22時～23時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23時～24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不 明	4	2	1	0	1	5	202	0	0	0	2	2	3,036
合 計	25	11	2	4	8	16	465	1	0	7	12	33	24,727

10年間の火災状況

区分 年 別	出 火 件 数						焼 損 面 積		死 傷 者 数		損 害 額 (千円)
	合計	建物	住宅	林野	車両	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	
平成23年	49	21	10	8	5	15	619	188	3	6	42,041
平成24年	59	19	7	6	9	25	1,125	53	2	5	82,769
平成25年	57	21	13	9	4	23	498	79	1	8	43,391
平成26年	43	16	12	6	7	14	773	15	1	6	97,342
平成27年	31	15	8	2	2	12	334	47	1	6	26,840
平成28年	36	18	12	0	2	16	364	0	0	5	40,556
平成29年	38	20	15	2	3	13	433	3	0	4	36,100
平成30年	40	14	8	1	5	20	800	19	2	4	109,981
令和元年	38	20	9	0	3	15	1,230	0	0	9	130,757
令和2年	25	11	10	2	4	8	465	1	0	7	24,727
10年間平均	42	18	10	4	4	16	664	41	1	6	63,450

(件) 10年間の出火件数と住宅火災件数及び損害額の推移 (千円)

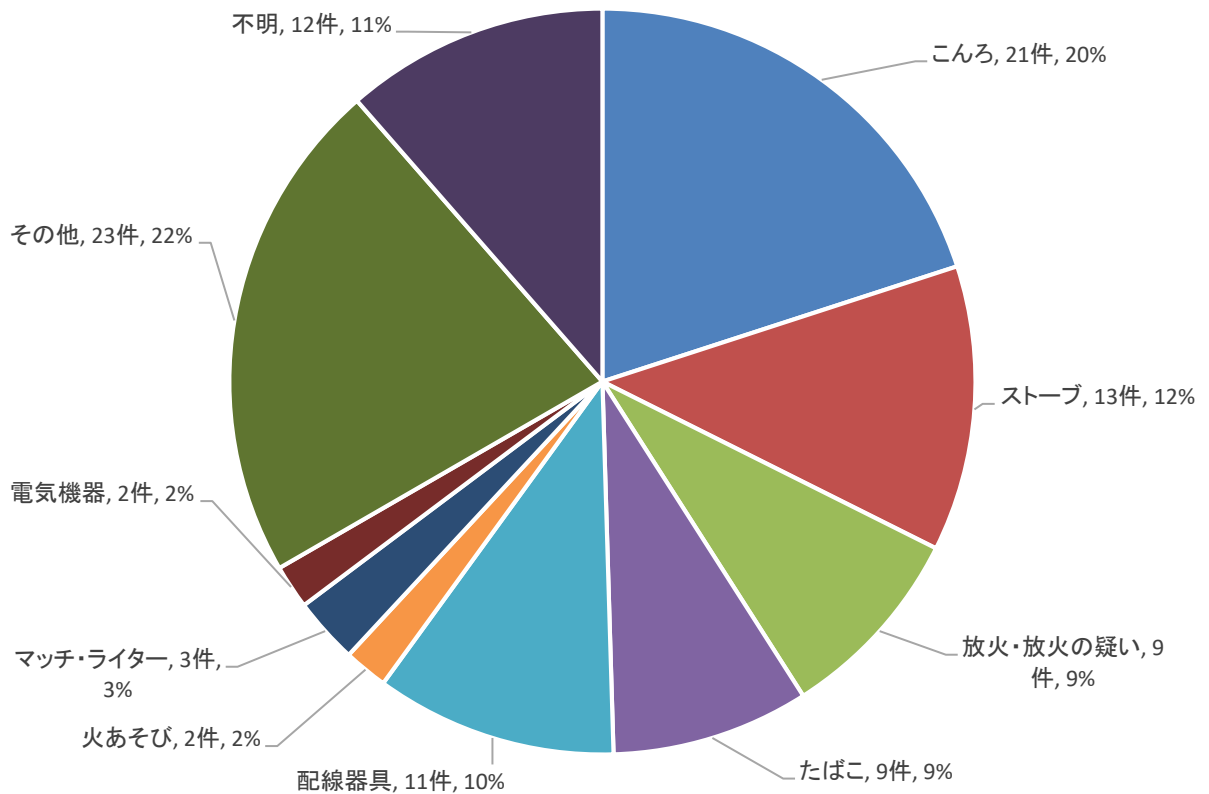


10年間の住宅火災の状況

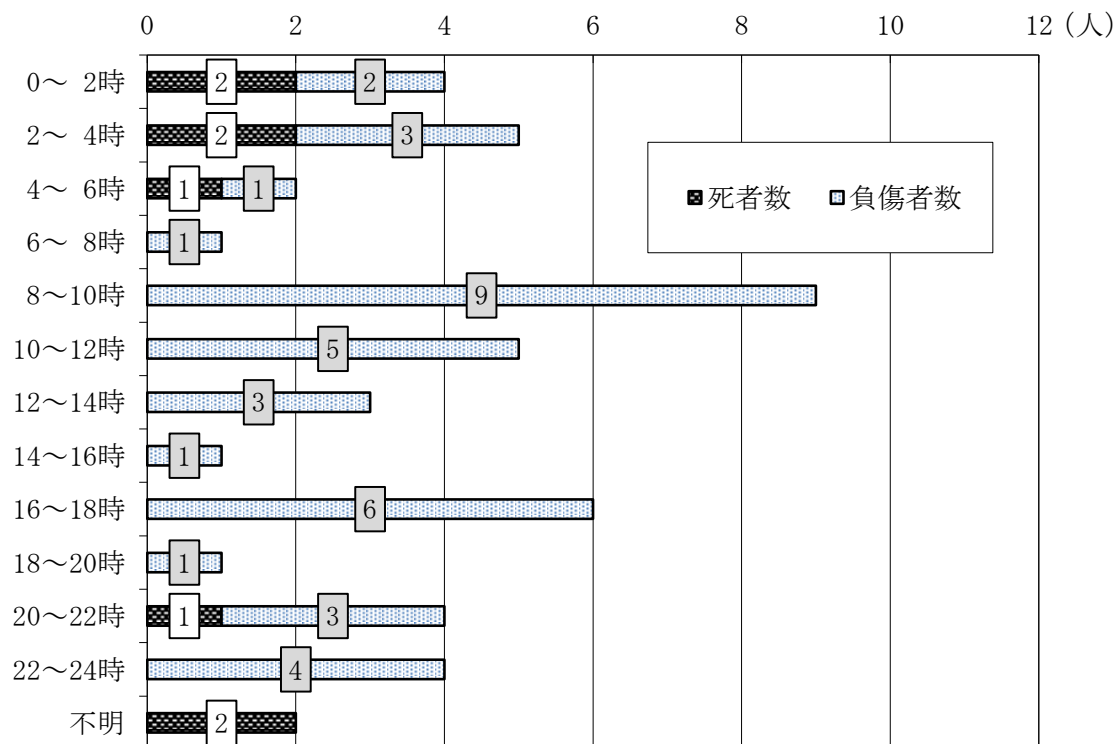
年別	区分 出火 件数	焼損棟数					死傷者数		損害額 (千円)
		全焼	半焼	部分焼	ぼや	爆発	死者	負傷者	
平成23年	10	3	1	3	6	0	3	3	21,387
平成24年	7	2	1	5	4	0	2	3	15,541
平成25年	13	2	0	3	8	0	1	7	43,391
平成26年	12	3	1	7	8	0	0	5	47,663
平成27年	8	1	2	2	6	0	1	4	18,226
平成28年	12	2	2	7	5	0	0	5	36,031
平成29年	15	4	1	7	8	0	0	2	20,147
平成30年	8	3	0	0	3	0	1	3	40,875
令和元年	9	2	0	4	3	0	0	5	41,936
令和2年	10	2	1	1	6	0	0	5	24,727
10年間合計	104	24	9	39	57	0	8	42	309,924
10年間平均	10	2	1	4	6	0	1	4	30,992

死傷者数は放火自殺者を除く。

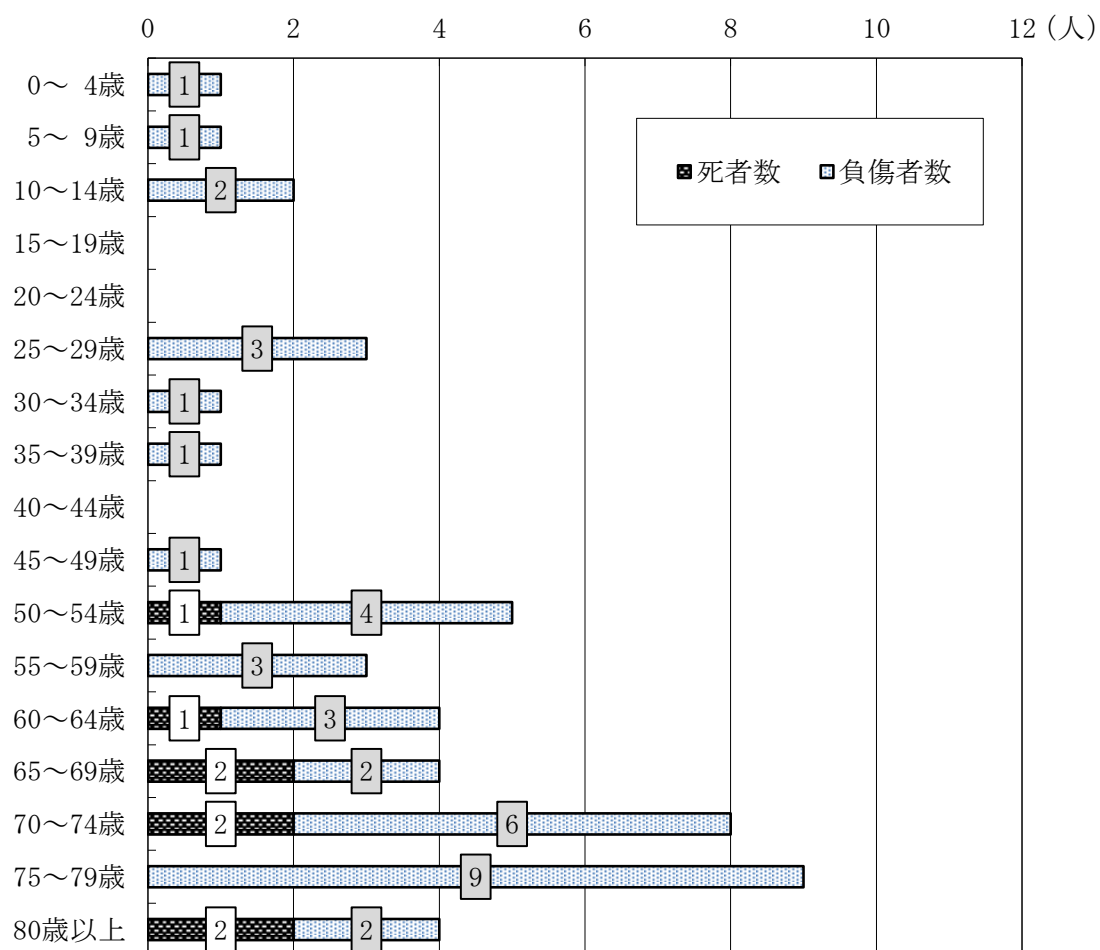
10年間の住宅火災における出火原因別件数



10年間の住宅火災における時間別死傷者数（放火自殺者を除く。）



10年間の住宅火災における年齢別死傷者数（放火自殺者を除く。）



第5編

救急・救助統計

事故種別救急出動件数及び搬送人員

年別 事故種別		令和2年中		令和元年中		対前年比	
		出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)
急	病	3,484 (3,327)	69.9 (70.6)	3,882 (3,718)	68.6 (69.7)	▲ 398 (▲ 391)	▲ 10.3 (▲ 10.5)
一	般負傷	803 (785)	16.1 (16.7)	809 (783)	14.3 (14.7)	▲ 6 (▲ 2)	▲ 0.7 (▲ 0.3)
交	通事故	275 (265)	5.5 (5.6)	380 (368)	6.7 (6.9)	▲ 105 (▲ 103)	▲ 27.6 (▲ 28.0)
自	損行為	30 (17)	0.6 (0.4)	56 (36)	1.0 (0.7)	▲ 26 (▲ 19)	▲ 46.4 (▲ 52.8)
運	動競技	30 (27)	0.6 (0.6)	38 (38)	0.7 (0.7)	▲ 8 (▲ 11)	▲ 21.1 (▲ 28.9)
労	働災害	37 (36)	0.7 (0.8)	46 (45)	0.8 (0.8)	▲ 9 (▲ 9)	▲ 19.6 (▲ 20.0)
加	害	16 (14)	0.3 (0.3)	16 (14)	0.3 (0.3)	0 (0)	(0) (0)
火	災	5 (4)	0.1 (0.1)	10 (9)	0.2 (0.2)	▲ 5 (▲ 5)	▲ 50.0 (▲ 55.6)
水	難	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	- (-)
自	然災害	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	- (-)
そ の 他	転院搬送	237 (237)	4.8 (5.0)	325 (324)	5.7 (6.1)	▲ 88 (▲ 87)	▲ 27.1 (▲ 26.9)
	医師搬送	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	- (-)
	資材搬送	15 (0)	0.3 (0.0)	17 (0)	0.3 (0.0)	▲ 2 (0)	▲ 11.8 (-)
	その他	51 (0)	1.0 (0.0)	76 (0)	1.3 (0.0)	▲ 25 (0)	▲ 32.9 (-)
合	計	4,983 (4,712)	100.0 (100.0)	5,655 (5,335)	100.0 (100.0)	▲ 672 (▲ 623)	▲ 11.9 (▲ 11.7)

※ ▲は減少を示す。

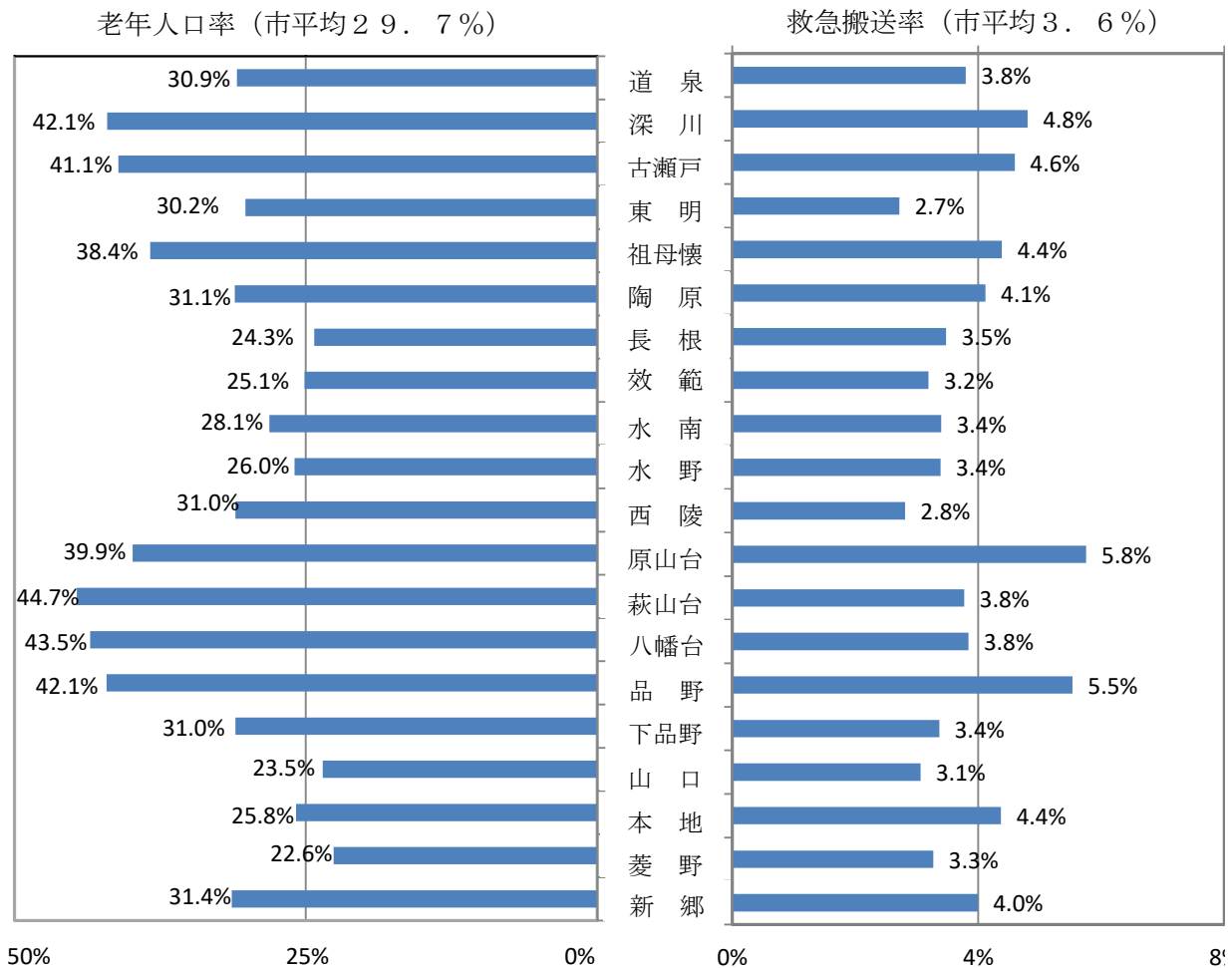
署 所 別 救 急 出 動 件 数

令和 2 年中

区分 署所別	合 計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	そ の 他			
												転院 搬送	医師 搬送	資材 搬送	その他
消 防 署	1,352	1	0	0	86	3	5	233	2	10	922	79	0	1	10
東 分 署	838	1	0	0	38	8	7	151	2	5	602	11	0	0	13
南 分 署	1,222	1	0	0	59	10	6	181	8	10	881	54	0	1	11
救急対策室	1,571	2	0	0	92	16	12	238	4	5	1,079	93	0	13	17
合 計	4,983	5	0	0	275	37	30	803	16	30	3,484	237	0	15	51

連 区 別 の 老 年 人 口 率 と 救 急 搬 送 率

令和 2 年中



※ 老年人口率：各連区の総人口のうち65歳以上人口が占める割合
 救急搬送率：各連区の総人口のうち救急搬送された人員の割合

曜日別・月別救急出動件数

令和2年中

事故種別 曜日・月	合計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
月	765	0	0	0	39	6	4	129	1	6	525	55
火	713	0	0	0	35	6	6	114	2	5	510	35
水	720	0	0	0	40	3	4	82	1	4	528	58
木	703	0	0	0	38	11	2	129	2	2	483	36
金	748	1	0	0	49	7	2	113	3	5	508	60
土	664	1	0	0	43	1	9	117	2	5	446	40
日	670	3	0	0	31	3	3	119	5	3	484	19
合計	4,983	5	0	0	275	37	30	803	16	30	3,484	303
1月	515	1	0	0	31	2	0	77	4	1	367	32
2月	431	0	0	0	17	2	3	60	2	3	326	18
3月	400	3	0	0	15	2	1	66	0	2	284	27
4月	327	0	0	0	25	0	0	44	2	3	238	15
5月	383	0	0	0	15	4	0	54	2	3	282	23
6月	382	0	0	0	20	0	3	75	4	3	251	26
7月	400	0	0	0	32	2	1	68	0	5	272	20
8月	464	1	0	0	19	3	9	66	1	0	341	24
9月	401	0	0	0	23	5	6	61	0	3	272	31
10月	433	0	0	0	28	6	4	74	0	3	292	26
11月	401	0	0	0	28	4	1	75	0	3	259	31
12月	446	0	0	0	22	7	2	83	1	1	300	30

時間別救急出動件数

令和2年中

事故種別 時間帯	合計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
合計	4,983	5	0	0	275	37	30	803	16	30	3,484	303
0～2時	174	0	0	0	4	1	0	22	0	0	146	1
2～4時	159	0	0	0	2	0	0	16	2	2	134	3
4～6時	200	1	0	0	5	0	0	33	0	2	155	4
6～8時	435	0	0	0	27	0	0	57	1	2	340	8
8～10時	653	1	0	0	45	10	2	120	0	2	444	29
10～12時	623	0	0	0	26	7	6	102	2	3	403	74
12～14時	581	0	0	0	35	5	8	99	1	2	371	60
14～16時	493	1	0	0	34	8	7	88	4	3	313	35
16～18時	516	0	0	0	38	4	3	94	2	7	333	35
18～20時	495	2	0	0	39	1	4	85	3	2	329	30
20～22時	402	0	0	0	10	1	0	59	0	4	311	17
22～24時	252	0	0	0	10	0	0	28	1	1	205	7

傷 病 程 度 別 搬 送 人 員

令和2年中

傷病程度 事故種別	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	合 計
急 病 (構成比：%)	17 (0.5)	150 (4.5)	1,307 (39.3)	1,853 (55.7)	0 (0.0)	3,327 (100.0)
交 通 事 故 (構成比：%)	0 (0.0)	2 (0.8)	44 (16.6)	219 (82.6)	0 (0.0)	265 (100.0)
一 般 負 傷 (構成比：%)	1 (0.1)	8 (1.0)	192 (24.5)	584 (74.4)	0 (0.0)	785 (100.0)
そ の 他 (構成比：%)	1 (0.3)	31 (9.3)	240 (71.6)	63 (18.8)	0 (0.0)	335 (100.0)
合 計 (構成比：%)	19 (0.4)	191 (4.1)	1,783 (37.8)	2,719 (57.7)	0 (0.0)	4,712 (100.0)

〔備考〕 傷病程度区分は次によっている。

- 1 死 亡 初診時において死亡が確認されたもの。
- 2 重 症 傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
- 3 中等症 傷病程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。
- 4 軽 症 傷病程度が入院を必要としないもの。
- 5 その他 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したものの。

年 齢 区 分 別 搬 送 人 員

令和2年中

事故種別 年齢区分		急 病	交通事故	一般負傷	その他	合 計	救急搬送率 (%)
新 生 児 (構成比：%)		1 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	18 (5.4)	19 (0.4)	2.3
	乳 幼 児 (構成比：%)	69 (2.1)	5 (1.9)	51 (6.5)	8 (2.4)	133 (2.8)	
少 年 (構成比：%)		75 (2.3)	32 (12.1)	33 (4.2)	23 (6.9)	163 (3.5)	1.2
成 人 (構成比：%)		809 (24.3)	161 (60.8)	113 (14.4)	119 (35.5)	1,202 (25.5)	1.7
高 齢 者	6 5 ~ 7 4 歳 (構成比：%)	566 (17.0)	36 (13.6)	133 (16.9)	42 (12.5)	777 (16.5)	4.2
	7 5 歳以上 (構成比：%)	1,807 (54.3)	31 (11.7)	455 (58.0)	125 (37.3)	2,418 (51.3)	12.3
	小 計	2,373 (71.3)	67 (25.3)	588 (74.9)	167 (49.9)	3,195 (67.8)	8.4
合 計 (構成比：%)		3,327 (100.0)	265 (100.0)	785 (100.0)	335 (100.0)	4,712 (100.0)	/

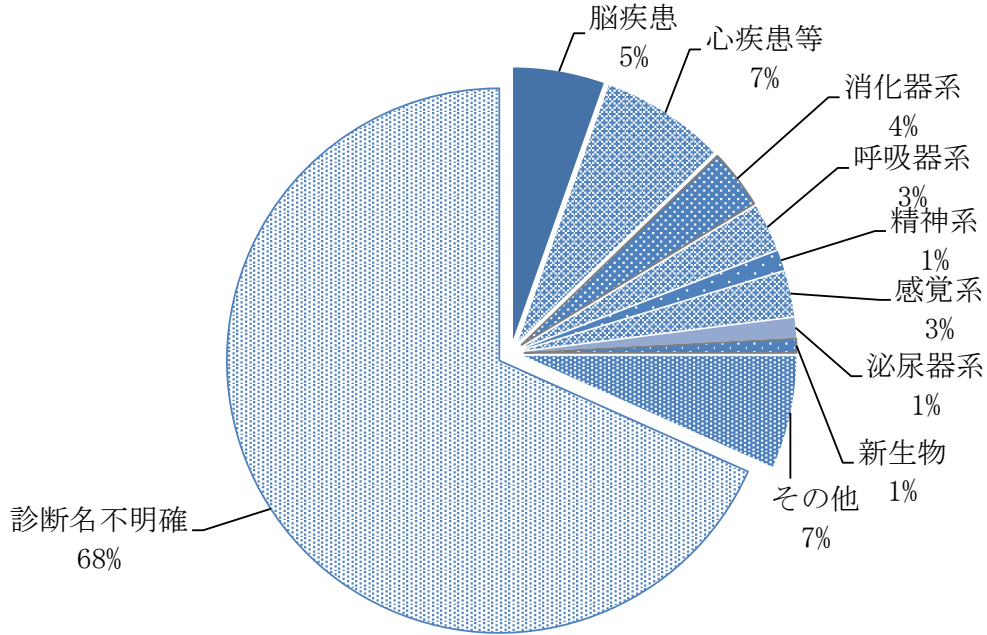
〔備考〕 年齢区分は次によっている。

- 1 新生児 生後28日未満の者
- 2 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- 3 少年 満7歳以上満18歳未満の者
- 4 成人 満18歳以上満65歳未満の者
- 5 高齢者 満65歳以上の者

〔備考〕 救急搬送率は年齢区分別の総人口のうち救急搬送された人員の割合

急病にかかる疾病分類別搬送人員

令和2年中



疾病分類別	脳疾患	心疾患等	消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿器系	新生物	その他	診断名不明確	合計
急病搬送人員	180	245	118	94	39	89	39	28	222	2,273	3,327

事故種別医療機関別搬送人員

令和2年中

救急告示区分		事故種別		急病		交通事故		一般負傷		その他		合計		
		管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	管内	管外	
救急医療機関	国立	21	21	1	1	2	2	9	9	33	33			
	公立	2,952	8	222	1	714	2	248	10	4,136	21			
	公的	7	7	0	0	2	2	6	6	15	15			
	私的	病院	310	294	40	40	62	45	68	68	480	447		
		診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	3,290	330	263	42	780	51	331	93	4,664	516				
その他の医療機関	国立	1	1	0	0	0	0	1	1	2	2			
	公立	3	3	0	0	0	0	0	0	3	3			
	公的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	私的	病院	30	6	1	0	4	0	3	3	38	9		
		診療所	3	0	1	1	1	0	0	0	5	1		
計	37	10	2	1	5	0	4	4	48	15				
合計	国立	22	22	1	1	2	2	10	10	35	35			
	公立	2,955	11	222	1	714	2	248	10	4,139	24			
	公的	7	7	0	0	2	2	6	6	15	15			
	私的	病院	340	300	41	40	66	45	71	71	518	456		
		診療所	3	0	1	1	1	0	0	0	5	1		
計	3,327	340	265	43	785	51	335	97	4,712	531				
その他の場所	接骨院等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計		3,327	340	265	43	785	51	335	97	4,712	531			

救急隊員の行った応急処置状況

令和2年中

処置 \ 事故種別	合計	急病	交通	一般負傷	その他
合計	15,892	11,563	973	2,304	1,052
止血	109	12	10	66	21
固定	204	8	121	60	15
人工呼吸	59	57	1	0	1
心マッサージ	2	2	0	0	0
心肺蘇生	106	97	1	3	5
酸素吸入	855	674	54	42	85
気道確保	179	162	2	7	8
経鼻エアウェイ	6	6	0	0	0
異物除去	30	26	0	4	0
ラリゲアルマスク等	35	33	0	1	1
気管挿管	3	3	0	0	0
保温	97	50	24	17	6
被覆	251	23	36	168	24
在宅療法継続	68	64	0	4	0
除細動	9	9	0	0	0
静脈路確保	36	35	0	1	0
うち CPA 前	3	2	0	1	0
うち CPA 後	33	33	0	0	0
薬剤投与	22	22	0	0	0
その他	21	13	0	4	4
血圧測定	4,519	3,204	261	749	305
心音・呼吸音聴取	1,472	1,190	105	103	74
血中酸素飽和度測定	4,588	3,239	263	770	316
心電図	3,290	2,697	95	310	188
血糖測定	4	4	0	0	0
エピペン投与	0	0	0	0	0
ブドウ糖投与	1	1	0	0	0

応急手当普及啓発実施状況

年度 \ 講習種別	救命講習		上級救命講習		応急手当講習	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
平成5～22年度	1,186	30,978	34	653	302	12,228
平成23年度	104	2,760	2	35	18	963
平成24年度	143	3,879	2	44	18	809
平成25年度	113	3,216	3	41	11	305
平成26年度	149	3,660	2	36	2	410
平成27年度	144	3,996	3	71	11	340
平成28年度	138	3,945	2	29	3	212
平成29年度	92	3,887	1	22	5	65
平成30年度	143	4,103	2	25	8	1,177
令和元年度	120	3,152	2	32	6	597
令和2年度	16	289	1	15	1	63
合計	2,348	63,865	54	1,003	385	17,169

救命率の推移

(%)

区分	年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
瀬戸市		16.7	16.7	50.0	25.0	66.7
愛知県		38.2	28.2	31.8	32.6	
全国		25.1	24.1	25.1	25.5	

※ 救命率とは、①目撃のある突然心肺停止である、②除細動が必要な心電図波形（Vf・脈のないVT）である救急患者を救急搬送し、1か月後に社会復帰できた割合をいう。

※ 令和2年中の愛知県及び全国の救命率は令和3年7月現在未発表

バイスタンダーCPR実施状況

年別		平成28年			平成29年			平成30年			令和元年			令和2年		
目撃別	件数等	発生件数	実施件数	実施率(%)	発生件数	実施件数	実施率(%)	発生件数	実施件数	実施率(%)	発生件数	実施件数	実施率(%)	発生件数	実施件数	実施率(%)
	あり		44	28	63.6	51	22	43.1	57	31	54.4	55	28	50.9	59	28
なし		78	51	65.4	85	59	69.4	69	48	69.6	86	47	54.7	51	32	62.7
合計		122	79	64.8	136	81	59.6	126	79	62.7	141	75	53.2	110	60	54.5

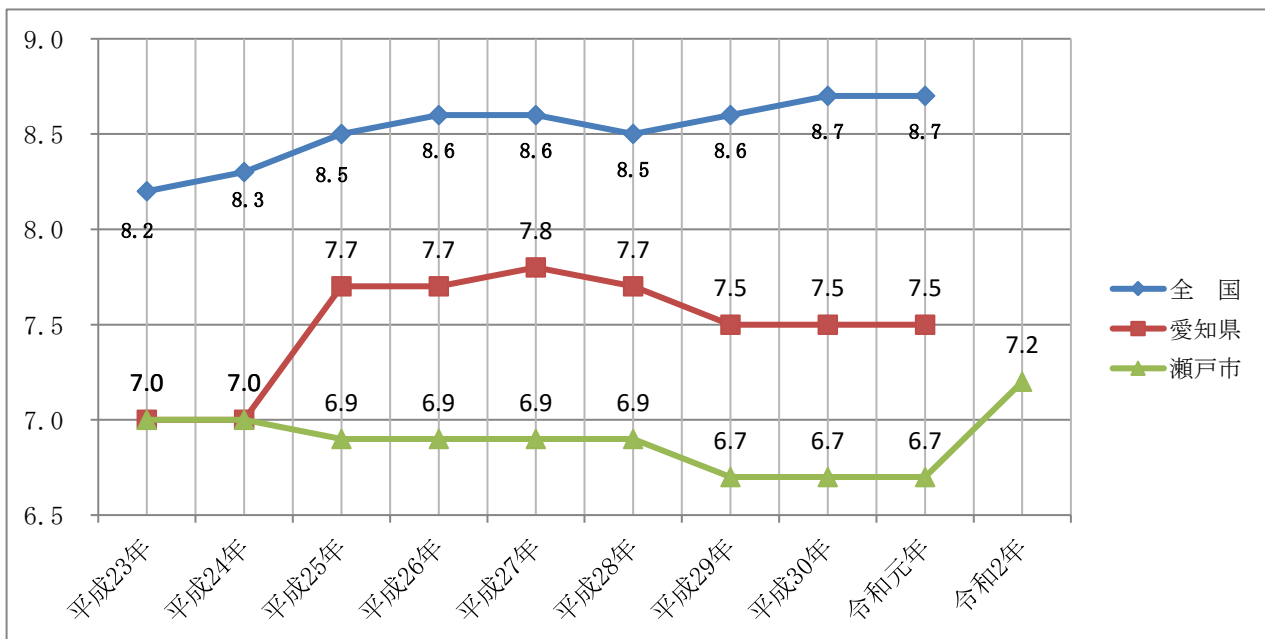
※ バイスタンダーCPRとは「救急現場に居合わせた人が行う心肺蘇生法」をいう。

AEDステーション認定事業所数

瀬戸市AEDステーション認定制度により、AED（自動体外式除細動器）を設置の上、万が一に備え応急救護体制が整備されている事業所等を「せとAEDステーション」として認定しています。（平成19年12月14日制度開始）

年度	H19～22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	合計
認定数	76	20	10	5	38	1	24	2	2	1	1	180

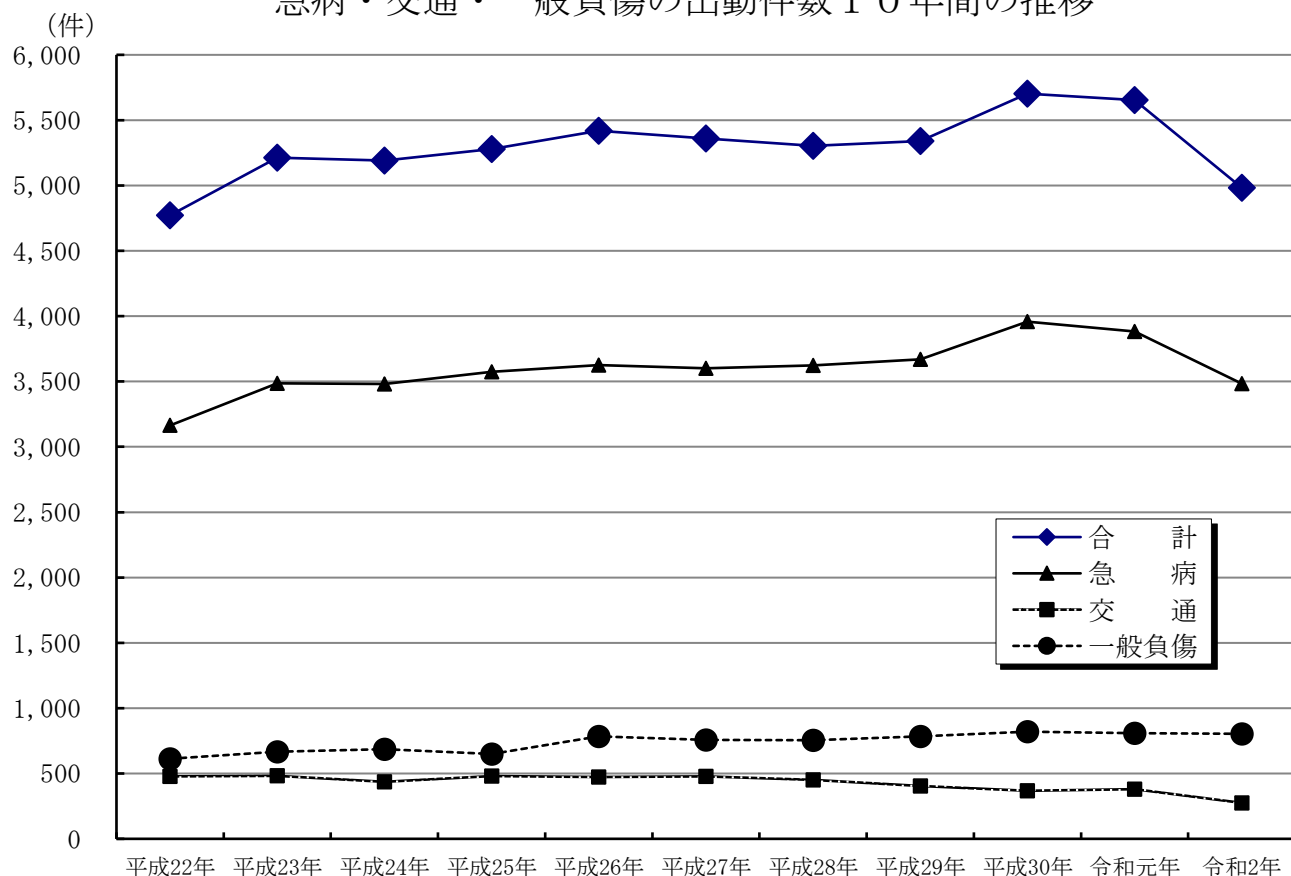
(分) 10年間の現場到着平均所要時間の推移



10年間の救急出動件数

事故種別 年 別	合 計	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	他 消防 本部 からの 応援
平成22年	4,772	1	0	2	479	53	38	613	22	52	3,164	348	12
平成23年	5,212	9	0	1	482	47	57	667	30	61	3,487	371	17
平成24年	5,192	2	0	0	437	58	32	685	33	46	3,482	417	5
平成25年	5,280	7	0	0	480	39	46	650	21	51	3,574	412	20
平成26年	5,419	5	0	0	472	35	35	785	16	36	3,625	410	44
平成27年	5,360	6	0	0	479	48	39	758	22	36	3,601	371	26
平成28年	5,304	5	0	0	452	60	44	754	12	43	3,624	310	23
平成29年	5,340	3	0	0	405	44	58	784	19	41	3,670	316	14
平成30年	5,703	5	0	0	368	69	52	820	12	34	3,958	385	6
令和元年	5,655	10	0	0	380	46	38	809	16	56	3,882	418	10
令和2年	4,983	5	0	0	275	37	30	803	16	30	3,484	303	15

急病・交通・一般負傷の出動件数10年間の推移



事 故 別 救 助 出 動 状 況

令和2年中

事故種別 件数・車両	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 欠 事 故 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	
		建 物	建 物 以 外									
出 動 件 数	73	0	0	10	2	0	2	47	0	0	12	
活 動 件 数	35	0	0	5	0	0	1	23	0	0	6	
救 助 人 員	33	0	0	5	0	0	1	21	0	0	6	
出 動 人 員	1,032	0	0	171	31	0	31	631	0	0	168	
出 動 車 両	救助工作車	69	0	0	10	2	0	2	43	0	0	12
	ポンプ車	87	0	0	15	3	0	3	50	0	0	16
	はしご車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化学車	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	指揮車	73	0	0	11	2	0	2	46	0	0	12
	救急車	78	0	0	15	2	0	2	49	0	0	10
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	合 計	309	0	0	51	9	0	9	189	0	0	51

連 区 別 救 助 出 動 件 数

令和2年中

事故種別 連区別	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 欠 事 故 及 び	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外								
合 計	73	0	0	10	2	0	2	47	0	0	12
道 泉	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
深 川	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
古 瀬 戸	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
東 明	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
祖 母 懐	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
陶 原	5	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1
長 根	5	0	0	1	0	0	0	3	0	0	1
效 範	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0
水 南	7	0	0	1	1	0	0	5	0	0	0
水 野	6	0	0	3	0	0	0	1	0	0	2
西 陵	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
原 山 台	4	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1
菘 山 台	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
八 幡 台	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
品 野	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
下 品 野	5	0	0	0	0	0	0	4	0	0	1
山 口	7	0	0	3	0	0	0	3	0	0	1
本 地	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
菱 野	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
新 郷	3	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
管 外	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

発 生 場 所 別 救 助 人 員

令和2年中

事故種別 発生場所		合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 及 び 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外								
合 計		33	0	0	5	0	0	1	21	0	0	6
屋 内	住 居	21	0	0	0	0	0	0	20	0	0	1
	その他の屋内	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
屋 路	高 速 道 路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の道路	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
外	水 面	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山 岳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他の屋外	4	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1
地 下		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2

1 0 年 間 の 救 助 出 動 件 数

事故種別 年別		合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 災 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 及 び 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外								
平 成 2 3 年		62	1	0	22	2	0	8	16	0	0	13
平 成 2 4 年		71	2	0	22	1	0	4	23	0	0	19
平 成 2 5 年		67	1	1	30	1	0	1	21	1	0	11
平 成 2 6 年		71	0	0	30	0	0	1	23	0	0	17
平 成 2 7 年		72	1	0	20	0	0	3	34	3	0	11
平 成 2 8 年		54	1	0	17	0	0	1	25	0	0	10
平 成 2 9 年		64	0	0	15	1	0	1	31	1	0	15
平 成 3 0 年		80	1	0	12	1	0	2	51	1	0	12
令 和 元 年		82	0	0	20	0	0	2	47	0	0	13
令 和 2 年		73	0	0	10	2	0	2	47	0	0	12

第6編

通信・気象

消防指令センターの主な施設状況

令和3年4月1日現在

施設名	数	施設名	数
指令台(Ⅱ型)	1式	回線制御装置	1式
地図等検索装置	1式	指令伝送送信装置	1式
指令制御装置	1式	音声合成装置	1式
非常用指令設備	1式	電源装置	1式
自動出動指定装置	1式	災害状況等案内装置	1式
順次指令装置	1式	データ修正装置	1式
録音装置	1式	無線統制台	1式
出動車両運用管理装置	1式	駆け込み通報電話	1式
位置情報通知装置(統合型)	1式	システム監視装置	1式
119番通報受信用FAX	1台	消防用高所カメラ画像表示・録画装置	1式
119番プロトコール装置	1式	高所カメラ施設	1式
車両運用表示盤	1式	庁舎監視カメラ装置	1式
多目的情報表示板	1式	気象情報収集装置	1式
支援情報表示盤	1式	基地局無線機	1式
災害情報収集装置	1式	県防災行政無線設備	1式
ファイル共有システム	1式	衛星携帯電話	1台
指令情報出力装置	1式	県震度情報ネットワーク端末装置	1式
eメール119番用PC(NET119含む)	1式	愛知県高度情報通信ネットワーク端末	1式

月別119番受信状況(受信時の種別)

令和2年中

種別	月別												
	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	6,648	643	550	552	421	490	504	609	628	547	554	576	574
火災	33	4	3	5	1	2	1	0	7	1	1	6	2
救急	4,812	503	418	389	326	369	365	389	447	379	416	381	430
救助	65	6	4	4	4	10	5	4	6	5	7	5	5
警戒	98	6	8	6	6	10	4	19	7	8	5	6	13
災害	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
問い合わせ	388	45	28	24	26	20	35	41	46	26	29	35	33
いたずら	74	0	7	7	0	2	0	30	12	3	5	8	0
誤操作他	562	35	36	73	43	35	33	79	57	59	35	38	39
訓練	318	12	21	29	13	20	26	17	19	54	38	35	34
試験	296	32	25	15	2	22	35	30	27	11	17	62	18

無線施設状況

(消防署)

令和3年4月1日現在

署所	型式	種 別	呼出名称	装備別	周波数帯	出力		
消防署	デジタル	防災行政用	ぼうさいせとしょうぼう	指令センター	400MHz	5W		
		消防用基地局	せとあさひしれい		270MHz 活動波1・2・3 主運用波	10W		
					270MHz 統制波1・2・3	5W		
		消防用陸上移動局	車載型	せと 1	ポンプ車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	10W	
				せと 2	タンク車			
				せと 3	化学車			
				せと 10	ポンプ車			
				せと 32	梯子車			
				せと 43	救助工作車			
				せと 51	指揮車			
				せと 52				
				せと 61	広報車			
				せと 62				
				せと 71	輸送車			
				せと 73	消防団活動車			
				せと 74	査察車			
				きゅうきゅうせと 1	救急車			
				きゅうきゅうせと 2				
				可搬型	せと 53			指揮車
					せと 54			
					せと 55			
					せと 81			通信指令室
					せと 82			消防署
		携帯型	せと 100	携帯用				
			せと 101					
			せと 102					
			せと 110					
せと 111								
せと 121								
せと 131								
せと 199	救急車							
せと 299	救急車							
アナログ	署活動用無線	携帯型	せと400番台18機	携帯用	400MHz	1W		

(東分署)

署所	型式	種 別	呼出名称	装備別	周波数帯	出力	
東分署	デジタル	消防用陸上移動局	車載型	せと 6	タンク車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	10W
				せと 8	ポンプ車		
				せと 75	輸送車		
				せと 76	査察車		
				せと 77	水槽車		
			きゅうきゅうせと 3	救急車			
			可搬型	せと 83	東分署		
			携帯型	せと 210	携帯用		
				せと 211			
				せと 212			
	せと 221						
	せと 399	救急車					
	アナログ	署活動用無線	携帯型	せと500番台10機	携帯用	400MHz	1W

(南分署)

署所	型式	種 別	呼出名称	装備別	周波数帯	出力	
南分署	デジタル	消防用陸上移動局	車載型	せと 5	タンク車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	10W
				せと 9	ポンプ車		
				せと 31	空中活動車		
				せと 64	広報車		
				せと 72	積載車		
			きゅうきゅうせと 5	救急車			
			可搬型	せと 84	南分署		
			携帯型	せと 310	携帯用		
				せと 311			
				せと 312			
	せと 321						
	せと 599	救急車					
	アナログ	署活動用無線	携帯型	せと600番台10機	携帯用	400MHz	1W

(救急対策室)

型式	種 別	呼出名称	装備別	周波数帯	出力		
救急対策室	デジタル	消防用陸上移動局	車載型	きゅうきゅうせと 6	救急車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	10W
			可搬型	せと 85	救急対策室		
			携帯型	せと 141	携帯用		
	せと 699	救急車	5W				
アナログ	署活動用無線	携帯型	せと400番台3機	救急車	400MHz	1W	

(長大トンネル)

型式	種 別	呼出名称	装備別	周波数帯	出力	
愛岐トンネル	デジタル	消防用基地局	せとしょうぼう あいぎとんねる	無線通信補助設備	270MHz	5W
猿投山トンネル			せとしょうぼう さなげやまとんねる			

(消防団)

署所	型式	種 別	呼出名称	装備別	周波数帯	出力	
消防団	デジタル	消防用陸上移動局	携帯型	せとどうせん 1	携帯用	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	5W
				せとふかがわ 1			
				せとこせと 1			
				せととうめい 1			
				せとそぼかい 1			
				せととうげん 1			
				せとこうはん 1			
				せとすいなん 1			
				せとみずの 1			
				せともしなの 1			
				せとしなのだい 1			
				せとはたやま 1			
				せとやまぐち 1			

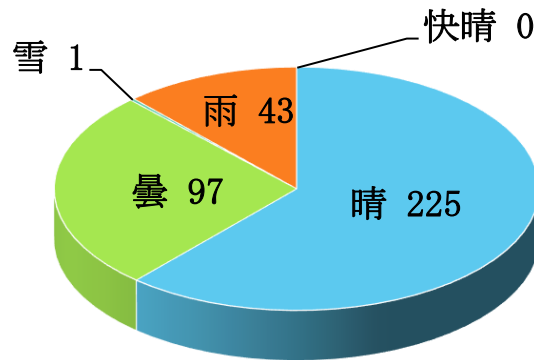
月別気象状況

令和2年中

項目	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	年間平均
風向	平均	NNW 1.9	NNW 2.3	NNW 2.4	NNW 2.8	WNW 2.1	S 2.1	SSW 2.5	S 2.1	ENE 2.2	NNW 1.8	NNW 1.8	ENE 1.8		2.2
	最高	NW 9.0	NW 9.5	NW 9.7	NNW 10.6	NW 8.0	S 8.1	SSE 10.1	NW 9.4	SE 9.8	NNW 8.0	NNW 8.7	WNW 10.9		
	瞬間最大	WNW 16.3	NW 16.6	NW 18.2	NNW 18.2	NW 14.3	S 14.0	SSE 18.8	NW 17.1	SSE 20.7	NNW 13.7	NNW 14.0	NW 19.1		
気温 ℃	平均	6.8	6.4	9.9	12.6	20.0	24.1	25.1	29.6	24.9	17.3	13.3	6.5		16.4
	最高	17.9	18.8	22.4	25.9	30.8	33.2	34.8	38.4	35.8	28.9	24.9	16.2		
	最低	-0.3	-3.7	-0.5	3.5	11.2	16.6	18.6	22.0	15.3	6.4	4.3	-2.1		
湿度 %	平均	67.2	62.2	62.6	56.9	66.5	76.9	86.6	74.4	78.3	72.9	66.0	75.1		70.5
	最低	29.1	25.8	14.9	9.9	9.9	28.8	44.7	36.9	34.7	22.4	19.7	22.4		
降雨 mm	降水日数	6	7	13	7	10	11	20	5	12	8	4	5	108	
	総降水量	50.0	51.0	128.0	102.0	126.5	241.0	382.5	26.0	154.0	221.5	31.5	16.5	1,530.5	
	10分間最大	4.0	2.0	2.5	2.5	6.0	9.0	15.5	3.0	13.0	2.5	3.0	1.0		
	1時間最大	15.0	7.5	9.5	7.0	11.0	24.0	36.0	9.0	32.0	10.5	4.0	2.5		
	最大日雨量	26.0	20.5	36.5	29.5	46.5	49.5	43.0	9.5	59.5	70.0	13.5	4.5		
降雪 cm	降雪日数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	
	総積雪量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0	
	最高積雪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

※「降雪cm」は1cm以下切り捨て

天候別日数

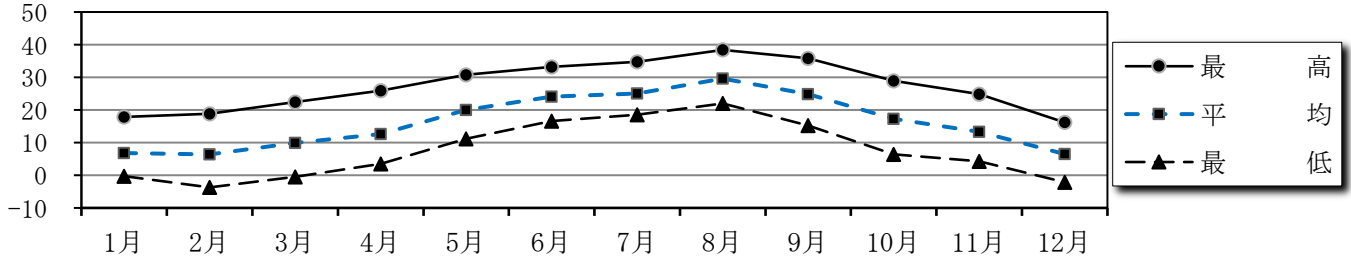


令和2年中、各日午前9時時点での目視による観測結果を天候別に集計
※観測地は消防本部（単位：日）

(℃)

月別気温状況

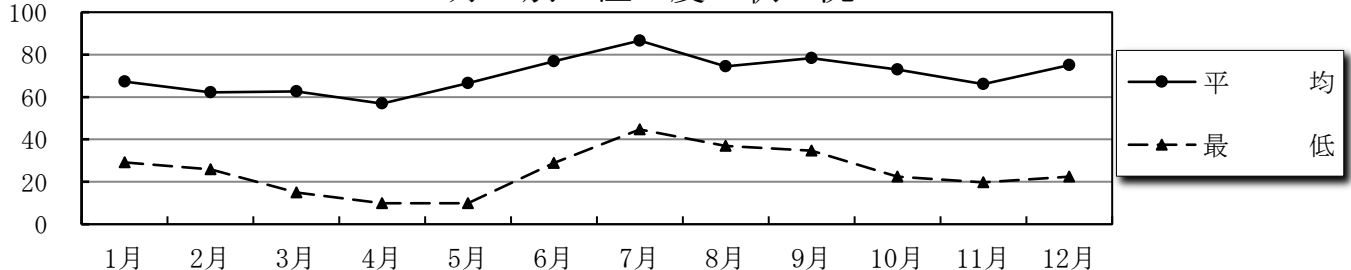
令和2年中



(%)

月別湿度状況

令和2年中



第7編

資料

瀬戸市の消防の沿革

明治 23 年 5 月	東春日井郡瀬戸村に 2 部編成定員 1 0 0 名をもって消防組を発足
明治 27 年 2 月	勅令及び県令により公設消防を組織し、瀬戸町せ組・と組で構成
明治 29 年 7 月	今村地区に私設消防組を設立
明治 39 年	幡山村に私設消防組を設立
大正 2 年	瀬戸町せ組・と組を公設消防第 1 部・第 2 部に改称（水野村に私設消防組設立、品野村に消防組を編成）
大正 7 年	瀬戸町公設消防組に第 3 部を増加編成
大正 12 年 2 月	水野村上水野消防組が公設消防組に認可
大正 14 年	赤津村公設消防組を瀬戸町公設消防組に編入し、第 4 部に増加編成
大正 15 年 12 月	水野村中水野、下水野消防組が公設消防組に認可、安土・南山・曾野私設消防組編成
昭和 4 年 10 月	市制施行に伴い瀬戸市消防組と改編、4 部 1 0 8 名で構成
昭和 14 年 4 月	瀬戸市警防団本部常備消防部として発足し、警防団 6 分団、総員 9 0 0 名、消防ポンプ車 5 台、三輪ポンプ車 1 台、腕用ポンプ 5 台を配備、戦中は防空業務に活躍
昭和 22 年 10 月	警防団本部常備消防部を解散し、同時に瀬戸市常備消防部として発足、業務開始
昭和 26 年 5 月	東春日井郡水野村との合併に伴い、水野村消防団を統合
8 月	瀬戸市消防本部設置
昭和 28 年 2 月	集中豪雨による防災活動の功績により、建設大臣表彰を受ける。
4 月	隣接品野町の大火による応援消防活動の功績により、愛知県消防協会会長表彰を受ける。
昭和 30 年 2 月	愛知郡幡山村との合併に伴い、幡山村消防団を統合
昭和 32 年 2 月	消防施設の充実により、日本消防協会会長表彰を受ける。
4 月	瀬戸市危険物安全協会設立
昭和 33 年 1 月	集中豪雨による防災、人命救助活動等の功績により、愛知県消防協会会長表彰で竿頭綬を受ける。
3 月	同上により、国家消防本部長表彰を受ける。
昭和 34 年 1 月	自治体消防発足 1 0 周年記念により、愛知県消防協会会長表彰で竿頭綬を受ける。
4 月	品野町との合併に伴い、品野町消防団を統合
7 月	瀬戸市消防音楽隊を発足
10 月	消防中短波無線局の設置（基地 1、移動 2、携帯 2）
12 月	伊勢湾台風（1 5 号）の復旧活動の功績により、中部日本災害対策本部長表彰を受ける。
昭和 35 年 4 月	消防団 1 団、1 3 分団 3 2 9 名で構成
9 月	瀬戸市消防署設置
昭和 36 年 4 月	常備消防力の増強を図り、1 3 分団 2 8 9 名に減員
6 月	ロータリークラブより 1 B 型救急車の寄贈を受け、救急業務を開始
昭和 37 年 3 月	消防庁告示による常設中心主義を目標とし、消防庁舎新築工事着手
4 月	瀬戸市火災予防条例の施行
10 月	消防庁舎竣工
昭和 40 年 3 月	瀬戸信用金庫から 1 B 型救急車の寄贈を受け、2 台体制による業務開始
8 月	中短波無線を超短波無線に更新（基地 1、移動 3）
9 月	市役所の愛知県行政無線を消防本部に移管
昭和 41 年 4 月	消防団の定員を 1 2 分団 2 6 7 名に減員
昭和 43 年 1 月	化学消防ポンプ自動車配備
5 月	瀬戸市指定水利規程の施行
6 月	瀬戸市火災警報規則の施行
昭和 44 年 3 月	消防力の充実により、消防庁長官から竿頭綬を受ける。
昭和 45 年 4 月	消防署救助隊の発足
9 月	防災体制の確立、防災思想の普及等の功績により、消防庁長官表彰を受ける。
昭和 46 年 9 月	市内で発生した都市ガス漏洩事故の災害防ぎょ活動の功績により、消防庁長官表彰を受ける。
11 月	同上により、愛知県知事表彰を受ける。
12 月	新消防庁舎新築工事着手
昭和 47 年 8 月	新消防庁舎竣工 消防本部、消防署は新庁舎に移転し、旧庁舎は東分署として消防業務開始
	1 5 m 級屈折梯子付消防ポンプ車を本署に配備
昭和 48 年 5 月	瀬戸尾張旭当直医問い合わせテレホンサービスの開始

昭和 49 年	2 月	救助工作車を東分署に配備
	4 月	消防本部に総務課を設置
	6 月	愛知県防災行政無線の整備計画による防災行政無線装置の更新工事完了
昭和 50 年	10 月	定光寺に火気使用制限区域の設定
	12 月	保育器の使用による未熟児搬送に関し、瀬戸旭医師会と救急業務実施協定の締結
昭和 52 年	6 月	瀬戸信用金庫から 2 B 型救急車の寄贈を受け、東分署に配備
	7 月	瀬戸市自衛消防連絡協議会設立
	11 月	3 0 m 級梯子付消防ポンプ車を消防署に配備 1 5 m 級屈折梯子付消防ポンプ車を東分署に配備
昭和 53 年	3 月	自治体消防発足 3 0 周年記念大会の開催 瀬戸社会福祉事業協力会から査察車兼広報車（軽四輪）の寄贈を受け、消防署に配備
昭和 54 年	12 月	消防救急指令装置 B 型及び地図検索装置の導入
昭和 55 年	10 月	消防水利整備計画に耐震性貯水槽（4 0 m ³ ）の設置を策定
昭和 56 年	9 月	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ車（給水装置付）の寄贈を受け、消防署に配備
	10 月	日本消防協会から 2 B 型救急車の寄贈を受け、消防署に更新配備 消防署三部制勤務の試行開始
昭和 58 年	4 月	消防署三部制勤務の開始 小型動力ポンプ積載車を定光寺町自警団に配備
	10 月	化学消防ポンプ車を東分署に配備し、旧車両を消防署に配備
昭和 59 年	3 月	大型照明電源車を消防署に配備
昭和 60 年	3 月	水南分団詰所を移転新築
	8 月	現場指揮本部等の体制強化を図るため、消防署に指令車を増強配備
	10 月	陶原分団詰所を移転新築
昭和 61 年	6 月	愛知県防災行政無線の災害通信メディア体系を整備し、防災行政事務に関する通信網を改善
	12 月	火災救急統計用のパソコンを導入
昭和 62 年	1 月	上品野分団を品野台分団に名称変更
	2 月	火災情報テレホンサービスの開始
昭和 63 年	3 月	品野台分団詰所を移転新築 防火思想の普及、消防施設の整備等の功績により、消防庁長官から表彰旗を受ける。
平成 元年	3 月	自治体消防発足 4 0 周年記念大会の開催
	4 月	瀬戸市婦人消防隊連絡協議会設立
	10 月	品野町 1 丁目に東分署移転新築、旧庁舎は南出張所として消防業務を開始
平成 2 年	3 月	消防緊急情報システムの運用開始 救急波消防無線の導入整備
	11 月	第 8 回愛知県防火推進大会の開催
平成 3 年	2 月	団資機材搬送車を水野分団に配備
	3 月	南出張所を南分署に名称変更、南分署庁舎新築
	10 月	団資機材搬送車を幡山分団に配備 救助工作車を消防署に配備し、旧車両を東分署に配備
	11 月	3 8 m 級梯子付消防自動車消防署に配備し、旧車両を南分署に配備 消防団が消防活動の充実等の功績により、愛知県消防協会長から特別功績旗を受ける。
平成 4 年	3 月	東明分団詰所を移転新築
	7 月	団資機材搬送車を東明分団に配備
	10 月	消防署指令車を更新配備 1 8 m 級梯子付消防自動車を東分署に更新配備 第 8 回全国婦人消防練法大会に愛知県代表として瀬戸市婦人消防隊が出場（横浜市）
平成 5 年	4 月	消防本部に予防課、消防署に救急係を設置
	9 月	救急高度化推進計画に基づき、高度化資器材の一部を配備
	10 月	水 II 型消防ポンプ自動車を本署に更新配備
平成 6 年	2 月	C D 一 I 型消防ポンプ自動車を水野分団に更新配備
	3 月	団資機材搬送車を下品野分団に配備
	4 月	東分署に救急係を設置
	7 月	第 3 9 回愛知県消防練法大会を市民公園陸上競技場で開催
	11 月	水 II 型消防ポンプ自動車を南分署に更新配備

平成 7 年	2 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を幡山分団に更新配備
	10 月	高規格救急車を消防署に更新配備 防災資機材地域備蓄倉庫新築
平成 8 年	1 月	自衛消防隊と大規模災害時における消防業務協定締結（19事業所）
	2 月	普通救命講習会の実施
	3 月	水Ⅱ型消防ポンプ自動車を東分署に更新配備
	12 月	高規格救急車を東分署に更新配備
平成 9 年	1 月	下品野分団詰所を新築
	4 月	南分署に救急係を設置
	12 月	30m級梯子付消防自動車を南分署に更新配備
平成 10 年	1 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を祖母懐分団に更新配備
	9 月	自治体消防発足50周年記念大会の開催 高規格救急車を南分署に更新配備
平成 11 年	4 月	自主防災リーダー委嘱開始
	11 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を深川分団に更新配備
	12 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を東分署に更新配備
平成 12 年	4 月	瀬戸市少年消防クラブ設立
	5 月	二市一町救急業務連絡協議会の設立
	10 月	公立陶生病院にて救急隊臨床実習を開始 C D—I 型消防ポンプ自動車を南分署に更新配備 C D—I 型消防ポンプ自動車を古瀬戸分団に更新配備
	12 月	消防緊急通信指令施設を更新し、運用開始、発信地表示装置を導入 消防指揮車を消防署に更新配備
平成 13 年	1 月	消防本部庁舎の耐震工事の施工（仮眠室個室化）
	3 月	名古屋市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	7 月	消防本部公式ホームページの開設
	11 月	救急隊病院内臨床実習・医師救急車同乗研修（ワークステーション）の開始
平成 14 年	3 月	瀬戸市消防本部シンボルマークを「ファイ太くん」に決定 消防職員に災害情報メールの配信開始
	4 月	応急手当普及推進計画（普通救命講習目標年間3,000人）の開始
	5 月	消防団員に災害情報メールの配信開始
	10 月	生物・化学テロ対策として消防庁から資機材を受領（化学防護服・除染シャワー・各種検知資機材） 東分署の改修工事を施工（仮眠室個室化）
	12 月	聴覚障害者を対象に災害情報メールの配信開始
平成 15 年	2 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を品野台分団に更新配備 消防署住民票取次ぎサービス開始 祖母懐公民館に100m ³ 型耐震性貯水槽を設置
	3 月	祖母懐分団詰所を移転新築
	4 月	副団長3名制、団員入団資格を市内在住・在勤に拡大
	6 月	公立陶生病院「救急業務高度化推進業務委託契約」締結
	8 月	愛知医大「救急業務高度化推進業務委託契約」締結 救急隊包括的指示除細動運用開始
	10 月	小型動力ポンプ積載車を定光寺町自警団に更新配備 小型動力ポンプ付水槽車（10t）を東分署に配備 愛知県・瀬戸市総合防災訓練（林野火災）を実施 （2005年日本国際博覧会東ターミナルゾーン予定地）
	12 月	瀬戸市消防団ラッパ隊発足 消防高所監視カメラ運用開始
平成 16 年	2 月	南分署の改修工事を施工（仮眠室個室化）
	3 月	「救命手当のできる店」を発足
	10 月	二市一町救急業務連絡協議会BCテロ災害対応訓練を実施
	11 月	市内公共施設（4箇所）にAEDを設置（県内初）
平成 17 年	2 月	消防自動二輪車（赤バイ）を日本消防協会から寄贈を受ける（3台） 消防自動二輪車隊（赤バイ隊）を発足 C D—I 型消防ポンプ自動車を東明分団に更新配備

	3月	女性消防団員（15名）を採用 愛知万博総合防災訓練を実施 東海環状自動車道総合防災訓練を実施（6消防本部合同） 瀬戸市消防署万博分署設置（万博期間中）
	9月	瀬戸市消防署万博分署を閉署
	10月	財団法人2005年日本国際博覧会協会から救急自動車の寄贈を受け東分署に更新配備 携帯電話による119番直接受信開始
平成18年	2月	CD-I型消防ポンプ自動車を水南分団に更新配備 災害支援消防団員（OB団員）を任命（12名）
	3月	市道拡張工事に伴い、効範分団詰所を移転新築 尾張旭市及び長久手町と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	4月	消防本部1課体制へ移行、グループ制を導入
	5月	春日井市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	8月	岐阜県土岐市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結 輸送車（パワーゲート付）を消防署に更新配備
	9月	岐阜県多治見市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
平成19年	11月	救助工作車II型を消防署に更新配備
	2月	38m級梯子付消防自動車を廃車し、30m級と18m級の梯子付消防自動車2台体制に変更
	4月	消防署グループ制を導入
	5月	特別救急隊の運用開始（毎週木曜日）
	11月	CD-I型消防ポンプ自動車を下品野分団に更新配備
	12月	瀬戸市AEDステーション認定制度創設
平成20年	8月	広報車を南分署に更新配備
	10月	輸送車（パワーゲート付）を東分署に配備
	11月	団資機材搬送車を水野分団に更新配備
平成21年	3月	水II型消防ポンプ自動車（クラスA消火泡混合装置付）を消防署に更新配備
	7月	特別救急隊の運用日拡充（火、木曜日）
	8月	査察車を東分署に更新配備
	10月	団資機材搬送車を幡山分団に更新配備
	11月	消防団安全安心パトロール開始
平成22年	2月	CD-I型消防ポンプ自動車を水野分団に更新配備
	4月	特別救急隊の運用日拡充（火、水、木、金曜日）
	7月	団資機材搬送車を東明分団に更新配備 救急安心たまご事業を開始
	8月	高規格救急車を消防署に更新配備
	10月	ガンバレ消防団応援事業所創設
平成23年	1月	CD-I型消防ポンプ自動車を幡山分団に更新配備
	3月	水II型消防ポンプ自動車（CAFS装置付）を南分署に更新配備
	5月	特別救急隊の運用日拡充（月～金曜日） 幼年消防クラブ設立
	12月	CD-I型消防ポンプ自動車を本署に更新配備
平成24年	2月	水II型消防ポンプ自動車（CAFS装置付）を東分署に更新配備 団資機材搬送車を下品野分団に更新配備
	3月	高規格救急車を南分署に更新配備
	7月	ハートフル講座を開始
	11月	消防団訓練場を開設 わんわん消防隊結成式を開催
	12月	瀬戸・尾張旭消防指令センターの運用開始
平成25年	2月	塩草町地内に耐震性貯水槽（40t）を新設
	3月	高規格救急車を消防署に更新配備
	12月	消防団応援サポーター制度開始
平成26年	1月	新救急ワークステーション施設運用開始 塩草町地内に耐震性貯水槽（40t）を新設
	3月	消防救急デジタル無線の運用開始 空中活動消防車を南分署にはしご車の更新車両として配備

	4月	地域防災担当制を導入
	10月	御嶽山の噴火災害に係る緊急消防援助隊派遣
平成 27 年	2月	広報61号車を愛知県共済生活協同組合から寄贈を受ける
	3月	道泉分団詰所の竣工
	5月	瀬戸市消防団による大学生等活動認定制度開始
	7月	公共施設AEDの屋外設置開始（県内初）
	10月	消防署全署所のオールトップ勤務開始（通信を除く） 救急ワークステーション24時間体制の運用開始
	12月	緊急通報メール119番の受信業務開始
平成 28 年	2月	指揮車を消防署に更新配備
	3月	高規格救急車を東分署に更新配備 救急隊4名出場開始
	4月	山口分団詰所の竣工。山口分団車及び搬送6号車（消防庁無償貸付）の配備 消防署救急対策室を設置 山口分団・女性分団の設立
	10月	緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練の実施
	12月	住宅密集区域火災における出動体制を増強
平成 29 年	2月	深川連区無火災1,000日達成。市長特別感謝状を授与
	3月	CD-I型消防ポンプ自動車を東分署に更新配備 深川分団詰所の竣工
	5月	災害時協力事業所登録制度の創設
	6月	消防本部ハラスメント防止宣言 住宅防火普及員認定制度の創設
	8月	瀬戸市危険物安全協会から無人航空機及び三輪バイクの寄贈を受け、消防署に配備
	10月	児童優秀防火作品による防火カレンダー作製
平成 30 年	1月	CD-I型消防ポンプ自動車を祖母懐分団に更新配備
	3月	輸送車（パワーゲート付）を積載車の更新車両として南分署に配備 高規格救急車を1台増強
	4月	消防署1隊増強（消防担当新設） 三市消防団連絡協議会発足
	5月	尾三消防本部と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	7月	違反対象物の公表制度開始 第1次出動車両全車両にドライブレコーダーを装備
	8月	西日本豪雨に係る緊急消防援助隊出動 新消防庁舎用地購入（今池町） ハラスメント防止に関する指針策定
	10月	広報車を消防署に更新配備
	12月	尾張旭市と全国初の消防行政の連携・協力に関する協定を締結 化学II型消防ポンプ自動車（全自動泡火薬剤混合装置付）を消防署に更新配備 日本消防協会から消防団活動車の寄贈を受け消防署に配備
平成 31 年	2月	査察車を消防署に更新配備 八幡台連区無火災1,000日達成。市長特別感謝状を授与
	3月	団資機材搬送車を品野台分団に更新配備
	4月	瀬戸市住宅用火災警報器適正配置促進事業（全世帯訪問調査）を開始 119番通報受信時に、多言語に対応できる三者間同時通訳システムを運用開始
令和 元 年	5月	消防団応援サポーターに漫画家の中島みるくさんが就任
	11月	西陵連区無火災1,000日達成。市長特別感謝状を授与 第24回全国女性消防操法大会において、女性分団が8位に入賞し、優良賞を受賞
令和 2 年	3月	CD-I型消防ポンプ自動車を道泉分団に更新配備
	7月	NET119緊急通報システム運用開始
	11月	CD-I型消防ポンプ自動車を深川分団に更新配備
令和 3 年	1月	CD-II型消防ポンプ自動車を消防署に更新配備
	2月	瀬戸市消防本部のPR動画を作成 指揮車を消防署に更新配備
	3月	高規格救急自動車を消防署に更新配備
	7月	静岡県熱海市土石流災害に係る緊急消防援助隊派遣

消 防 相 互 応 援 協 定

消防組織法第39条第2項の規定に基づき、消防の相互応援について次のとおり協定を締結している。

	締 結 先 機 関 名	協定締結年月日	摘 要
愛 知 県	尾 張 旭 市	昭和27年11月28日	隣接市との応援協定
	春 日 井 市	昭和39年10月1日	〃
	豊 田 市	昭和43年8月1日	〃
	名 古 屋 市	昭和53年6月1日	〃
	尾 三 消 防 本 部	平成30年4月1日	〃
	全 市 町 村	平成2年4月1日	県内広域応援協定
	名古屋市他23消防本部 一部事務組合	平成28年3月15日	愛知県下高速道路における 消防相互応援協定
岐 阜 県	多 治 見 市	昭和44年2月1日	隣接市との応援協定
	土 岐 市	昭和58年1月31日	〃



《瀬戸市のロゴマーク・キャッチコピー》

■ロゴマークについて

瀬戸の魅力である「自然と共生しながら育まれてきたものづくり文化」「やきものづくりとも深く関わってきた里山」のイメージを伝えるコンテンツ(狛犬、椿、オオサンショウウオ、里山、瀬戸川、瀬戸焼、登り窯、窯垣)を六角形に配置しました。

■「いいもん せともん」について

「せともん」＝「瀬戸物」陶磁器の代名詞として全国的に定着している言葉。「もん」＝モノだけでなく、ヒト、コトなど、瀬戸の多様な物事を言い表しています。また、「もん」の響きが、「誇り」、「職人氣質」を感じさせ、瀬戸の気風を表しています。

令和3年版消防年報

編集 瀬戸市消防本部 消防課

発行 令和3年8月

〒489-0983 愛知県瀬戸市苗場町101

TEL 0561(85)0479(地域防災・予防広報担当)

FAX 0561(21)6605

URL ▶ <http://www.city.seto.aichi.jp/bunya/toukei-nenpou/>

E-mail ▶ shobohonbu@city.seto.lg.jp